

ブレンダー散布機 アトラス

取扱説明書

DSB- 1424・1630・1832・2238



ブレンダー散布機をご使用になる前に

- 当社製品を安全かつ正しく快適にお使いいただくために、必ず本取扱説明書をお読み下さい。誤った使用方法是事故をひきおこす恐れがあります。
- お読みになったあとも必ず、製品と共に保管して下さい。
- 本製品を貸与または譲渡なさる場合は、この取扱説明書を必ず添付してお渡し下さい。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、すみやかに販売店にご注文下さい。
- なお、本製品は安全対策や、機能向上のため使用部品の一部変更を行う場合があります。このためイラストなどの一部が本製品と一致しないことがありますのであらかじめご了承下さい。
- また、ご不明の点やお気づきのことがございましたら、お買い上げ頂きました販売店、農協などにご相談下さい。



印付きの下記マークは、安全上、お客様にかかわる重要な項目です。
必ず、お守り下さい。



危険

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。



警告

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。



注意

その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。



株式会社 太イショ

TAISHO

■ 安全に作業をするために

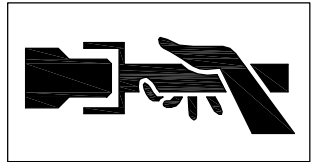


危険

P I Cカバーやチェーンカバーを外して使用しない。

【守らないと】

機械に巻き込まれて死傷事故になります。



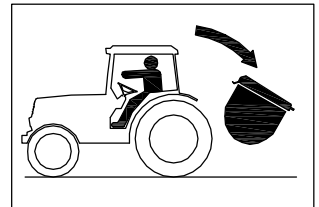
警告

散布機の装着が完全であることを確認する。

ご使用になる時は、毎回必ず3点リンクの取付けや、
抜け止め用のリンチピンが付いているか確認して下さい。

【守らないと】

散布機が脱落し、事故をまねく恐れがあります。

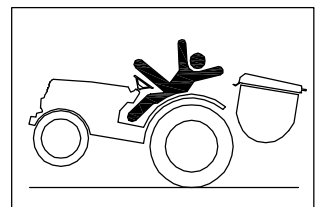


警告

散布機装着後、トラクタの前後バランスが悪い時は、
フロントウェイトを装着して下さい。

【守らないと】

バランスを崩し、転倒事故を起こす恐れがあります。

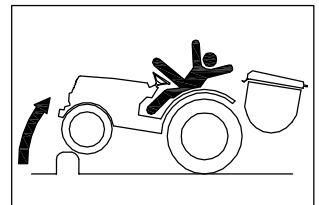


警告

散布機装着後のトラクタの運転は慎重にする。
トラクタの走行速度は 8 [Km/時]以下厳守のこと。

【守らないと】

段差を乗り越える際にトラクタのバランスを損なったり、
散布機に無理な力が加わり破損する恐れがあります。



警告

強風時の蓋開閉や、蓋を開けたままで散布機を上下
させないで下さい。

【守らないと】

不意に蓋が閉まってケガをしたり、散布機およびトラクタが
破損することがあります。

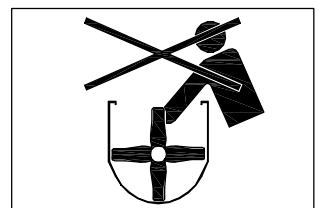


警告

エンジン回転中は、ホッパー内に手や棒等を
入れないで下さい。

【守らないと】

混合羽根に巻き込まれてケガや機械が故障することがあります。



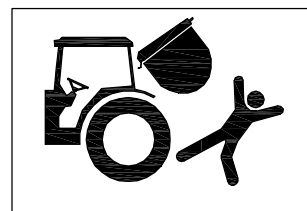


警告

トラクタと散布機の間や、散布機の下には入らないで下さい。

【守らないと】

不意に散布機が下がったり、トラクタが動いた時に、死傷事故を起こす恐れがあります。

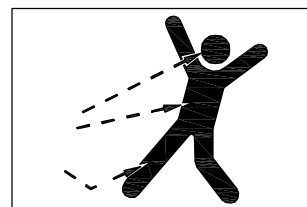


警告

散布作業中は機械に近づかないで下さい。

【守らないと】

飛散物が当たってケガをすることがあります。

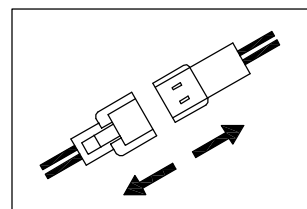


警告

保守・点検・清掃の時は必ずトラクタのエンジンを停止し、散布機のコネクタを抜いて下さい。

【守らないと】

機械が急に動き出したりしてケガをすることがあります。

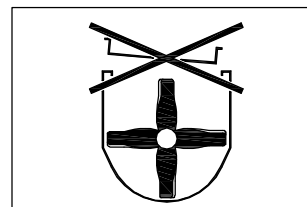


警告

ホッパー網を外しての使用は絶対しないで下さい。

【守らないと】

混合羽根に巻き込まれてケガをすることがあります。

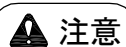
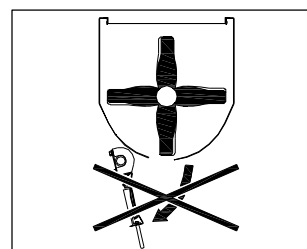


警告

底板を開けた状態で混合羽根を回転させないで下さい。

【守らないと】

混合羽根に巻き込まれてケガをすることがあります。

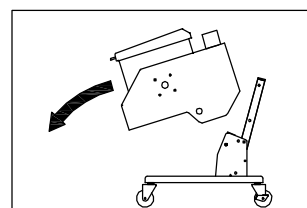


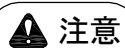
注意

散布機の着脱は、固くて平坦な場所で行って下さい。
また、スタンドの取付けは確実に行って下さい。

【守らないと】

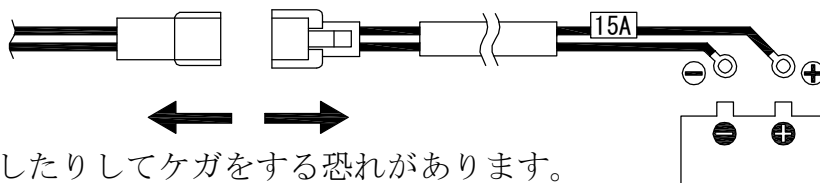
本体が落下したりしてケガをすることがあります。





注意 バッテリーへ接続する場合は電源カプラを外して行う。

バッテリー電源延長コードをバッテリーへ接続する場合は、電源カプラを外した状態で行って下さい。



【守らないと】

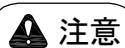
機械が急に動き出したりしてケガをする恐れがあります。



注意 コードは、エンジン等の高温部や舵取り機構等の可動部、板の端部等の鋭端部には取付けない。

【守らないと】

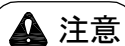
ショートして、火傷や火災事故をひき起こす恐れがあります。



注意 散布機を上昇下降させた時、コードが突っ張ったり、緩み過ぎたりしないことを確認する。

【守らないと】

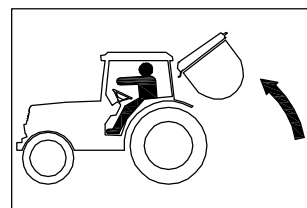
ショートして、火傷や火災事故をひき起こす恐れがあります。



注意 散布機を上昇させた時、トラクタに当たらないことを散布作業前に確認する。

【守らないと】

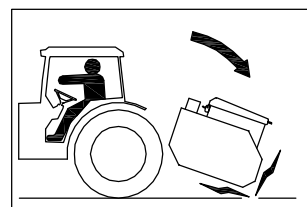
散布機およびトラクタが破損することがあります。



注意 散布機を急激に上昇下降させない。

【守らないと】

散布機が破損することがあります。

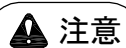


注意 散布機を装着したトラクタで一般道路を走行しない。

一般の公道を走行するときは、散布機を取り外して下さい。

【守らないと】

道路運送車両法に違反します。

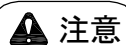


注意 散布機を使用する時は、防塵マスクなどを身に付ける。

特に、ホッパーへ肥料を投入する際には肥料の吸引を避けられるような服装で行って下さい。

【守らないと】

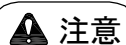
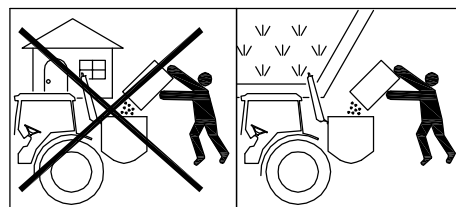
肥料を吸引すると健康を損なう恐れがあります。



注意 肥料は圃場で入れて下さい。また肥料を入れる時は混合羽根を回転させないで下さい。

【守らないと】

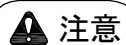
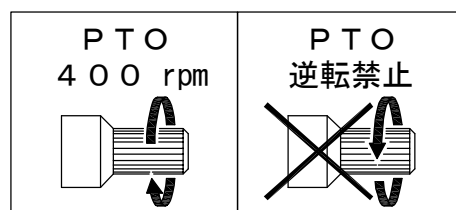
事故・ケガ・機械の故障をまねく恐れがあります。



注意 P T Oは4 0 0 r p mで作業して下さい。
またP T Oは、逆転させないで下さい。

【守らないと】

事故・ケガ・機械の故障をまねく恐れがあります。



注意 機械の改造禁止

散布機を改造して使用しないで下さい。

【守らないと】

事故・ケガ・機械の故障をまねく恐れがあります。

■ 使用上の注意

1. 下記のような肥料は散布できません。ホッパー投入前にご確認下さい。

- ・ 流れの悪い肥料 ・ ・ ・ 消石灰等の流れの悪い肥料
(流れが悪い為、散布量が不安定です。)
- ・ 混合すると危険な肥料 ・ ・ ・ 生石灰等は水分と反応して 発熱する恐れがあります。
- ・ 湿った肥料 ・ ・ ・ 握った時、固まる位水分を含んでいる肥料

2. 雨天時の散布作業はしないで下さい。

ホッパー内に雨が浸入し肥料が固まったり、肥料が詰まったりします。

3. 作業終了後は、ホッパー内の肥料を完全に排出して下さい。

■ 取扱上の注意

- (1) バッテリーへの電源接続は間違えないように ⊕ ⊖ を正しく接続して下さい。
- (2) 肥料の補給はシャッターが閉じた状態で、必ずエンジンおよび散布機の電源スイッチを切ってから行って下さい。
- (3) 蓋を開けた時は、蓋が不意に閉じないように必ず蓋ストッパーでロックして下さい。
(ロック方法は、9 ページの肥料投入方法の項参照。)
- (4) 肥料の投入は必ず圃場で行って下さい。
(肥料を入れたまま 散布せずに長時間 <15 分以上> 走行すると、肥料が固く締まってシャープピンが切れる ことがありますので注意して下さい。)
- (5) ホッパー網に勢いよく肥料を載せないで下さい。網が変形してしまいます。
- (6) 規定以上の肥料は入れないで下さい。肥料が溢れたり、シャープピンが切れたりします。
- (7) 肥料混合作業時は蓋を閉じて下さい。
- (8) P T O の回転は 400 rpm で作業して下さい。
- (9) シャープピンが切れた場合は、付属のシャープピンに交換し、 過負荷の原因（異物混入や肥料の入れ過ぎ、P T O の高速回転等）を取り除いてから作業を再開して下さい。
- (10) トラクタの走行速度は、時速 8 km 以下 を厳守して下さい。
- (11) ヒューズが切れた場合は、ショートまたは過負荷の原因（シャッターへの肥料の付着等）を取り除いてからヒューズを交換して下さい。 また、ヒューズは必ず指定のものを使用して下さい。（10 A 平型ヒューズ）
- (12) シーズンの作業が終わったら、ホッパーやシャッターに付着した肥料をよく洗い落として下さい。（洗浄後よく乾燥させて下さい。）
- (13) 保管は屋内で行って下さい。特に電気系統に水がかからないように注意して下さい。

■ 組立手順

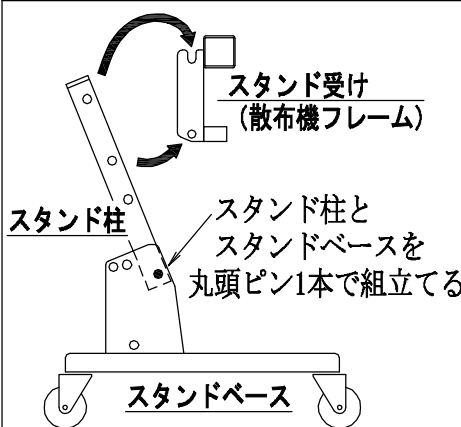
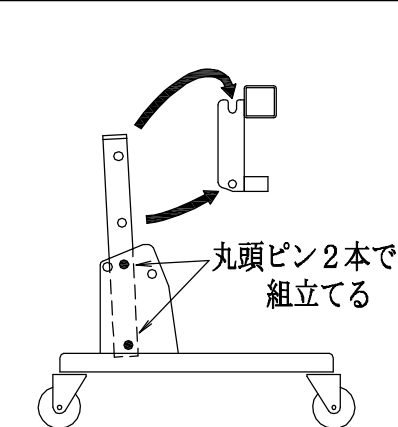
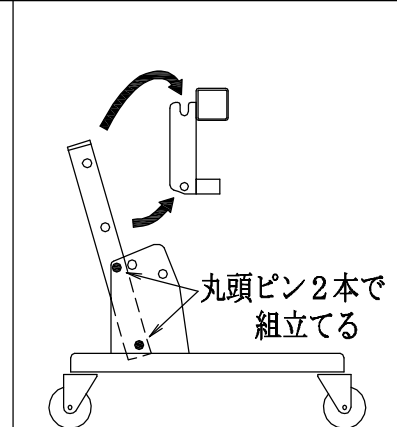
A. トラクタへの装着

※肥料を入れたまま、スタンドを使用しないで下さい。

※散布機の着脱は、固くて平坦な場所で行って下さい。

※スタンドで移動する時は、段差のある所や悪路では無理に押したりしないで下さい。

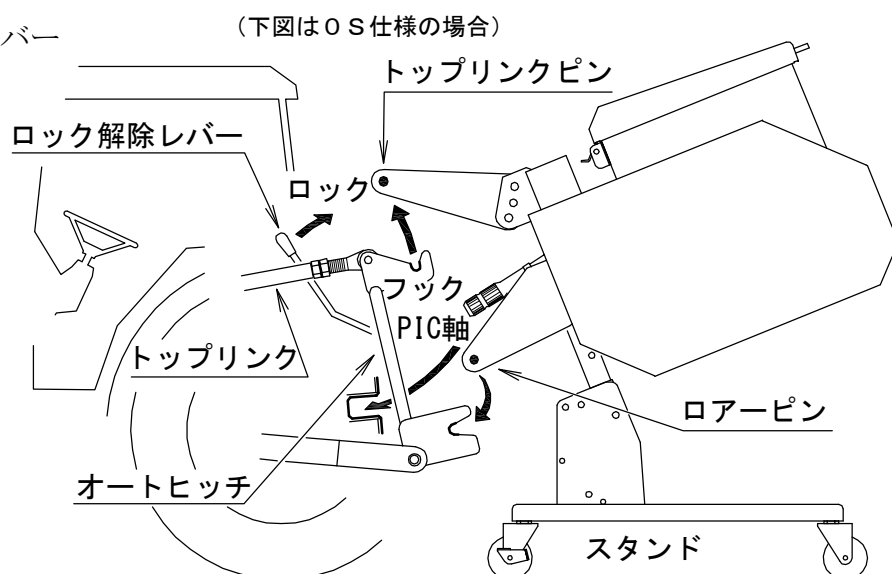
・ 散布機のスタンドは、散布機の装着型式に合わせた状態でお使い下さい。

OS, OL	1S	A1, A2, B, BM
 スタンド受け (散布機フレーム) スタンド柱 スタンド柱と スタンドベースを 丸頭ピン1本で組立てる スタンドベース	 丸頭ピン2本で 組立てる	 丸頭ピン2本で 組立てる

オートヒッチ装着（OS, A1, A2, B, BM, OL仕様）の場合

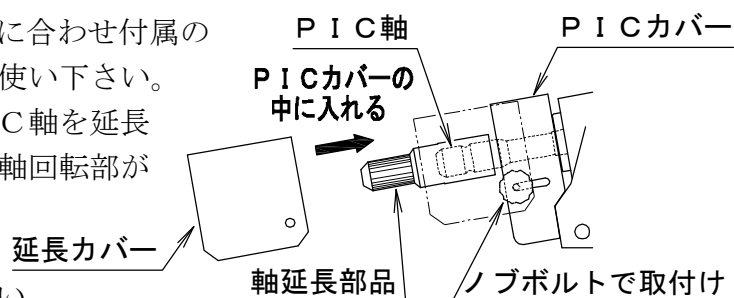
- (1) オートヒッチのロック解除レバーをロック側に倒しておきます。
自動ロック機構でない場合は、装着後にロックして下さい。

- (2) オートヒッチ上部のフックで散布機のトップリンクピンをすくい上げます。
自動的にロアーピンとPIC軸も結合します。うまく結合できない場合は、トップリンクの長さを調整して下さい。



- (3) 左右のロアーピンが確実にロックされていることを確認して下さい。

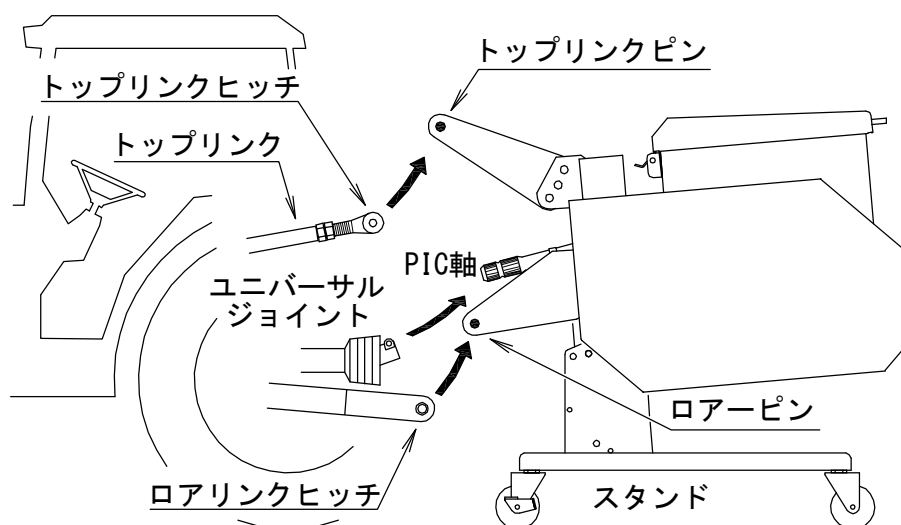
- (4) OS、OL仕様の場合、オートヒッチに合わせ付属のガイドカラーとトップリンクカラーをお使い下さい。
またOS仕様の場合、他部品にてPIC軸を延長した時は、付属の延長カバーを取付け、軸回転部が隠れるようにして下さい。



- (5) 散布機装着後、スタンドを外して下さい。

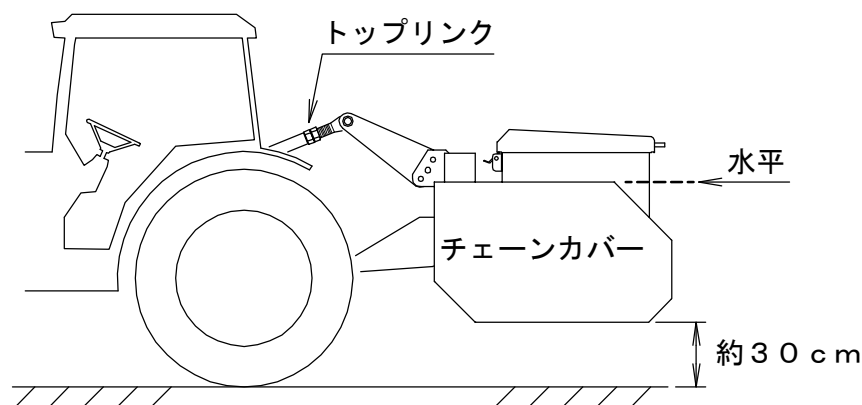
手動装着（1S仕様）の場合

- (1) 左右のロアリンクヒッチにローアピンを通して取付けます。
- (2) トップリンクの長さを変えたりしながら、トップリンクヒッチにトップリンクピンを通して取付けます。
抜け止めの為、トップリンクピンと左右のローアピンにリンチピンを取付けます。
- (3) P I C軸にユニバーサルジョイントを取付けます。ユニバーサルジョイントが長い場合は、適当な長さに切ってお使い下さい。（ユニバーサルジョイントの取説に記載）
- (4) ジョイントカバーが回転しないよう、付属のチェーンを散布機またはトラクタに取付けて下さい。
- (5) 散布機装着後、スタンドを外して下さい。



B. 姿勢調整

- (1) 散布機を上昇させた時、トラクタのキャビンやボディに当たらないことを確認して下さい。
当たる時は、3点リンクの高さ規制をして下さい。
- (2) 散布機を上昇させた時、ユニバーサルジョイントの外れがないことを確認して下さい。
- (3) 作業時にチェーンカバーを引きずらないような高さ（地上高約30cm）で水平姿勢になるよう、トラクタの油圧上下やトップリンクの長さを調整して下さい。
- (4) 散布機が横揺れし過ぎないように、左右のチェックチェーンを適度に張って下さい。

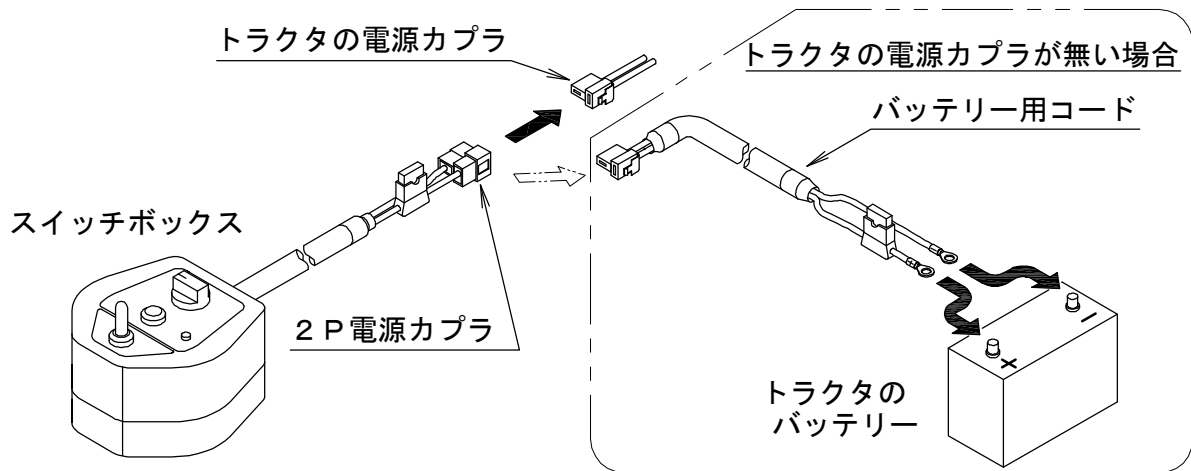


C. 配線およびスイッチボックスの取り付け

- (1) スwitchボックスの電源カプラをトラクタの電源カプラに接続して下さい。

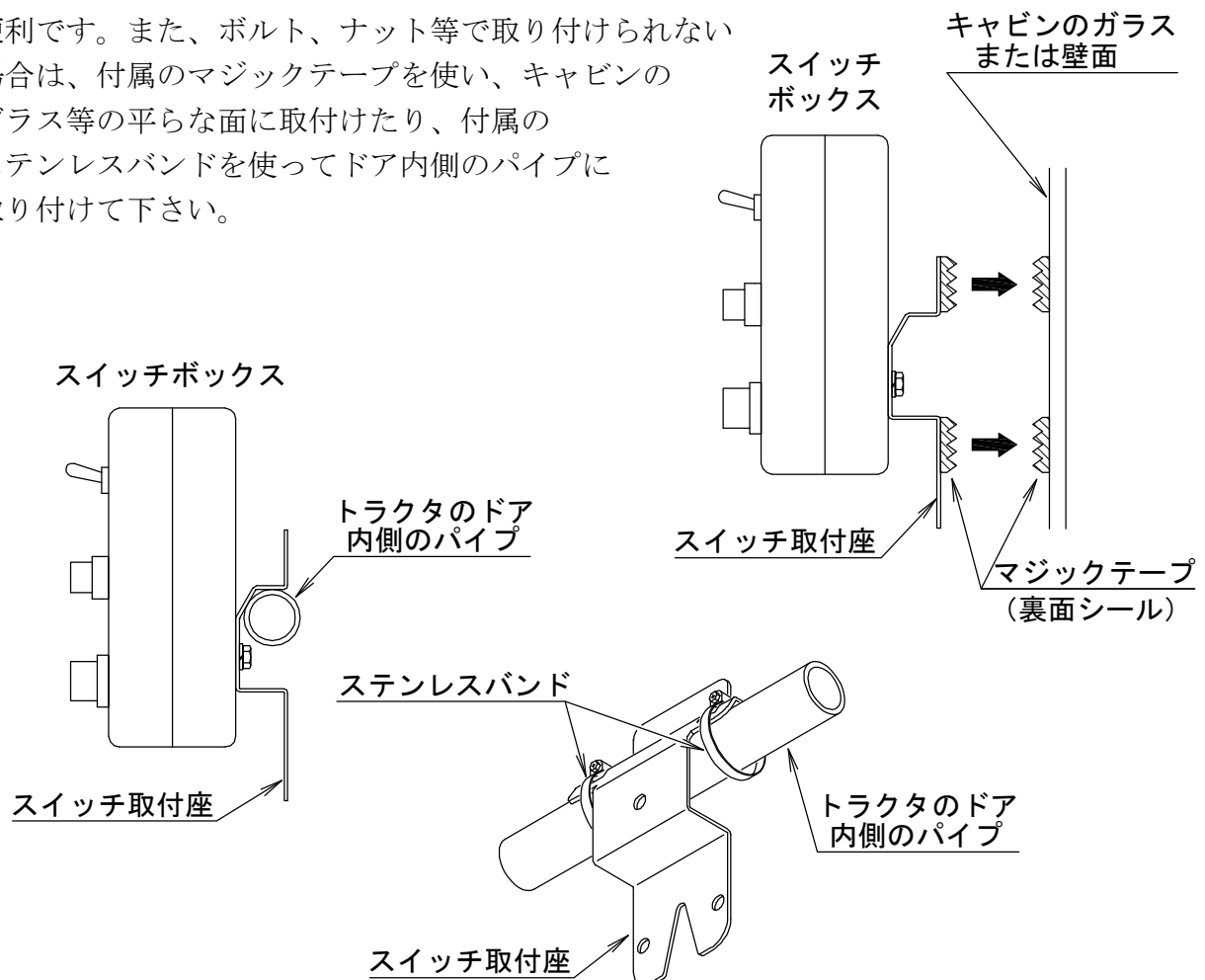
トラクタの電源カプラはシート後部に有ります。(トラクタによって、取り出し位置が違うものや、電源カプラの無いものもあります。)

トラクタの電源カプラが無い場合は、付属のバッテリー延長コードをトラクタのバッテリーに接続し、そのカプラをスイッチボックスの電源カプラに接続します。

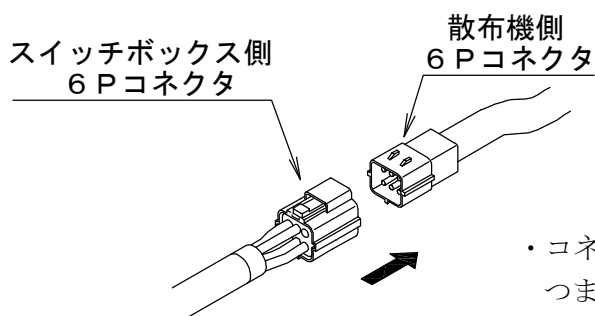


- (2) スwitchボックスを運転席の操作し易い所に取り付けて下さい。

トラクタのフェンダーの取手などを利用して取り付けると便利です。また、ボルト、ナット等で取り付けられない場合は、付属のマジックテープを使い、キャビンのガラス等の平らな面に取り付けたり、付属のステンレスバンドを使ってドア内側のパイプに取り付けて下さい。



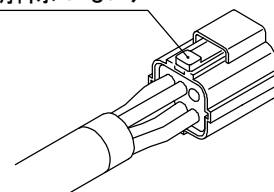
- (3) 散布機をトラクタに装着後、スイッチボックスの6 Pコネクタを散布機の6 Pコネクタに接続します。



- ・コネクタには方向性が有ります。左図のような向きで、カチッと音がするまで押し込んで接続して下さい。

ロック解除つまみ

- ・コネクタを抜く時は、ロック解除つまみを押しながら抜いて下さい。(2 P、3 Pコネクタも同様です。)



- (4) コードの取付けは、付属のリピータイ等でトラクタの高温部や舵取り機構等の動く箇所を避けて取付けて下さい。(リピータイ7本付属) また、散布機を上下させた時にコードが突っ張ったり、緩み過ぎてタイヤに巻き込まれたりしないような長さで固定して下さい。

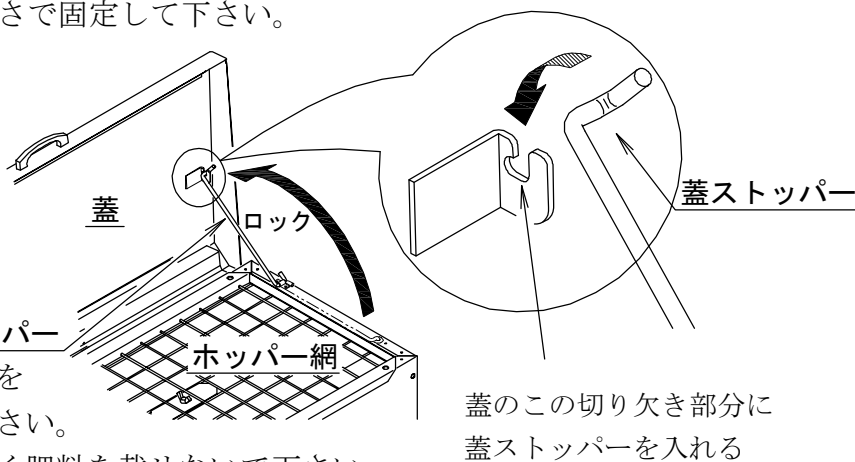
■ 肥料投入方法

- (1) 蓋を開け、不意に蓋が閉じないよう蓋ストッパーでロックして下さい。

蓋ストッパー

- (2) シャッターが閉じていることを確認してから肥料を投入して下さい。

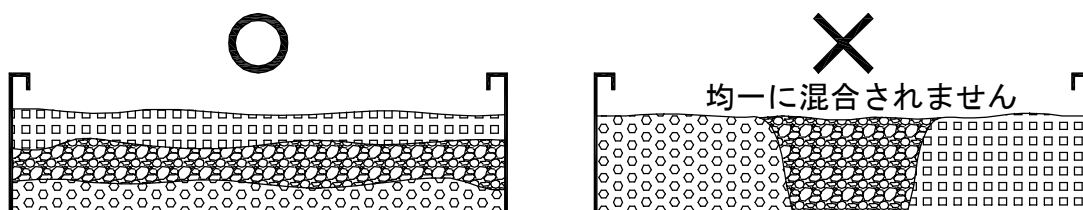
その際、ホッパー網に勢いよく肥料を載せないで下さい。



- (3) 混合すると危険な肥料 (生石灰等) や湿った肥料 (握って固まるもの) は使用しないで下さい。使用する肥料それぞれの取扱注意を良く読んでから使用して下さい。

- (4) 肥料を入れる時は、混合羽根を回転させないで下さい。

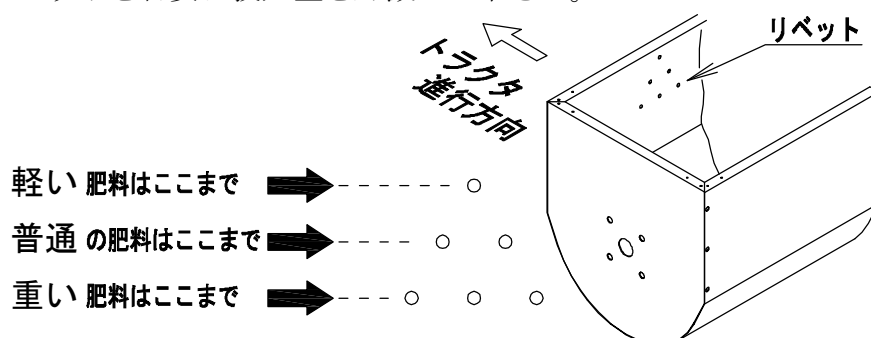
- (5) 数種類の肥料をホッパーに入れる時、上下の層になるように入れて下さい。左右に分けて入れると、均一に混合されません。



- (6) 肥料は絶対に規定量以上は入れないで下さい。

ホッパーに取付けてあるリベットを目安に投入量を加減して下さい。

軽い肥料	米ぬか 油粕 乾燥堆肥 など
普通の肥料	粒状化成 粒有機ペレット けいふん など
重い肥料	ようりん ケイカル など



軽い 肥料はここまで →

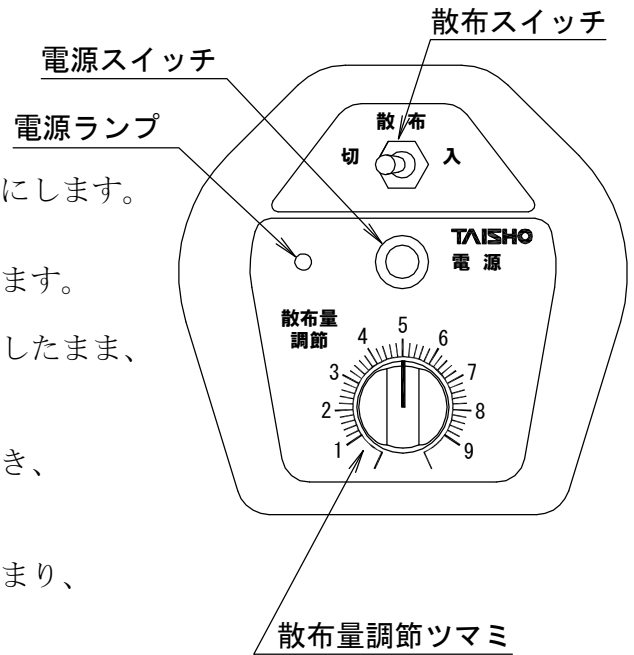
普通 の肥料はここまで →

重い 肥料はここまで →

■ 操作説明（スイッチボックス）

スイッチボックス盤面

- (1) 肥料の散布量の調節を、つまみで調整します。
目盛りは次ページ『散布目盛りの決め方』
を参考にして決めて下さい。
- (2) スwitchボックスの電源スイッチを押してONにします。
(スイッチボックスのランプが点灯します。)
スイッチを押すたびにON／OFFを繰り返します。
- (3) 肥料の散布および停止は電源スイッチをONにしたまま、
散布スイッチの 入／切 によって行います。
- (4) 散布スイッチを「入」にするとシャッターが開き、
肥料の散布が開始されます。
- (5) 散布スイッチを「切」にするとシャッターが閉まり、
肥料の散布が停止します。
- (6) 作業が終了したら電源スイッチをOFFにして下さい。



※シャッターが閉じる前に電源スイッチをOFFにすると、シャッターが開いたまま
肥料が停止されない状態になりますので注意して下さい。（全開から全閉まで約2秒間）

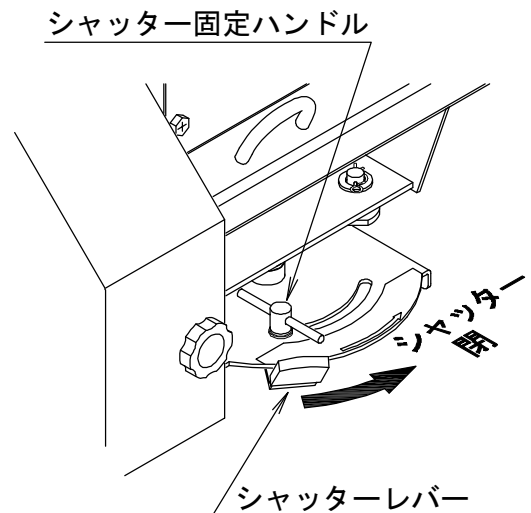
※電源を入れてすぐにはシャッターは動作しませんのでご注意下さい。（約3秒間）

※バッテリーの ⊕ ⊖ を逆に接続すると、電源スイッチを「入」にしてもランプは点灯し
ません。また、散布スイッチを「入」にするとヒューズが切れたり、「切」にしてもシャ
ッターが閉じないことがあります。

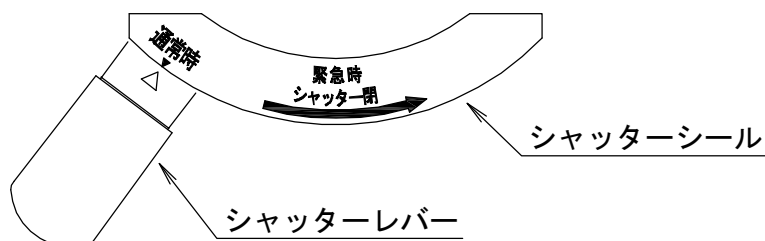
■ 緊急時肥料停止方法

シャッター動作用の基板ユニットが故障したり、
ケーブルが断線して、電氣的にシャッターが閉まらない
場合、シャッターレバーにより肥料を停止して下さい。

- (1) シャッター固定ハンドルを外します。
- (2) シャッターレバーを止まるところまで矢印の方向に
動かし、シャッター固定ハンドルを締め付けます。
- (3) シャッターが閉まり、肥料の散布が停止します。



※これは緊急時の対応ですので、通常時はシャッターレバーに開いている
三角穴の頂点を「通常時」の位置に戻して下さい。



■ 散布目盛りの決め方

A. 散布表を用いない方法

・下記①から⑤の手順で散布目盛りを決めて下さい。

①

作業時間

下表を参考に10アール（1反）当たりの作業時間を求めます。

（例）車速が4 [Km/h]の場合、
DSB-2238 での作業時間は 7 [分]と、なります。

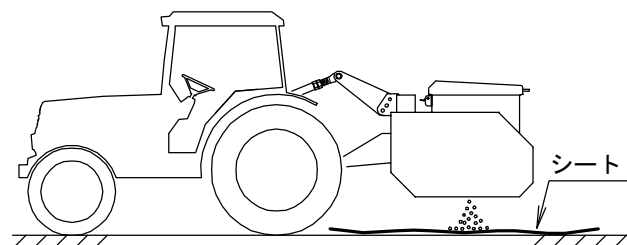
車 速 [Km/h]	1	2	2.5	3	3.5	4	5	6	7	8
型 式										
DSB-1424	43分	21	17	14	12	11	9	7	6	5
DSB-1630	38	19	15	13	11	9	8	6	5	5
DSB-1832	33	17	13	11	10	8	7	6	5	4
DSB-2238	27	14	11	9	8	7	6	5	4	3

（ターン等の時間は含んでおりません。）

③

テスト散布

地面に敷いたシートの上に任意の散布目盛りで1分間散布します。



②

1分間当たりの散布量

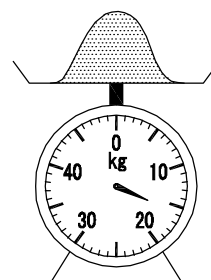
10アール（1反）当たりの散布したい肥料の重さを上記作業時間で割って、1分間当たりの散布量を計算します。

（例）散布したい肥料が140 [Kg]、作業時間が7 [分]の場合、1分間当たりの散布量は、
 $140 \div 7 = 20$ [Kg] と、なります。

④

計量

散布した肥料を集め、重さを量ります。



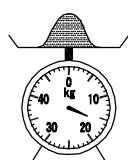
⑤

散布目盛り決定

1分間当たりの散布量（計算値）とテスト散布した肥料の重さを比較して、同じ位になるよう散布目盛りを変え、テスト散布を繰り返して散布目盛りを決定します。

（例）1分間当たりの散布量（計算値）が20 [Kg]で、

テスト散布した肥料の重さが



20 [Kg] 未満

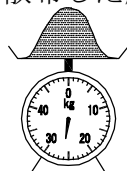


散布目盛りを大きくする



もう一度 テスト散布

テスト散布した肥料の重さが



20 [Kg] 超

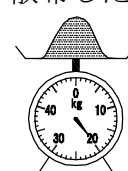


散布目盛りを小さくする



もう一度 テスト散布

テスト散布した肥料の重さが



20 [Kg]



散布目盛り決定



圃場で 散布作業開始

B. 散布表を用いる方法

(1) 散布する肥料に合った表(表1～3)を使い、トラクタの作業速度(車速)と希望の散布量(10アール当たり)から散布目盛りを決定して下さい。

※肥料の形状、比重、湿り具合等によって散布量は変わります。

表で求めた目盛りは目安ですので、必ずテスト散布後に目盛りを決めて下さい。

※混合肥料の場合は、混合比率の1番多い肥料の散布目盛表を目安にして下さい。

※散布目盛りは、PTO回転が400[rpm]時での値となっています。

表1 散布目盛り(粒状肥料用)

(例) トラクターの車速が4[Km/h]で、散布する肥料の量が140[Kg]の場合、

目盛りは4.1となります。

参考肥料：水戸野菜専用

粒状肥料用		10アール当たりの散布量												
		60 Kg	80 Kg	100 Kg	120 Kg	140 Kg	160 Kg	180 Kg	200 Kg	240 Kg	300 Kg	400 Kg	500 Kg	600 Kg
トラクター の車速 [Km/h]	8.0	4.0	4.3	4.5	4.7	4.9	5.0	5.2	5.3	5.5	5.9	6.4	7.0	7.5
	7.0	—	4.1	4.4	4.6	4.7	4.9	5.0	5.1	5.4	5.7	6.1	6.6	7.1
	6.0	—	4.0	4.2	4.4	4.6	4.7	4.9	5.0	5.2	5.5	5.9	6.3	6.7
	5.0	—	—	4.0	4.2	4.4	4.5	4.6	4.7	4.9	5.2	5.6	5.9	6.3
	4.0	—	—	—	4.0	4.1	4.3	4.4	4.5	4.7	5.0	5.3	5.6	5.9
	3.5	—	—	—	—	4.0	4.1	4.3	4.4	4.6	4.8	5.1	5.4	5.7
	3.0	—	—	—	—	—	4.0	4.1	4.2	4.4	4.6	5.0	5.2	5.5
	2.5	—	—	—	—	—	—	—	4.0	4.2	4.5	4.7	5.0	5.2
	2.0	—	—	—	—	—	—	—	—	4.0	4.2	4.5	4.8	5.0
	1.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.0	4.2

表2 散布目盛り(けいふん用)

参考肥料：くみあい 粒状醗酵けいふん

けいふん用		10アール当たりの散布量												
		100 Kg	120 Kg	140 Kg	160 Kg	180 Kg	200 Kg	220 Kg	240 Kg	300 Kg	340 Kg	400 Kg	500 Kg	600 Kg
トラクター の車速 [Km/h]	8.0	6.4	6.7	7.0	7.2	7.4	7.6	7.7	7.9	8.4	8.7	9.2	—	—
	7.0	6.3	6.5	6.8	7.0	7.2	7.4	7.5	7.7	8.1	8.3	8.8	9.5	—
	6.0	6.1	6.3	6.5	6.7	6.9	7.1	7.3	7.4	7.8	8.0	8.4	9.1	9.7
	5.0	—	6.1	6.3	6.4	6.6	6.8	6.9	7.1	7.5	7.7	7.9	8.5	9.0
	4.0	—	—	6.0	6.2	6.3	6.4	6.6	6.7	7.1	7.3	7.6	8.0	8.4
	3.0	—	—	—	—	6.0	6.1	6.2	6.3	6.6	6.8	7.1	7.5	7.8

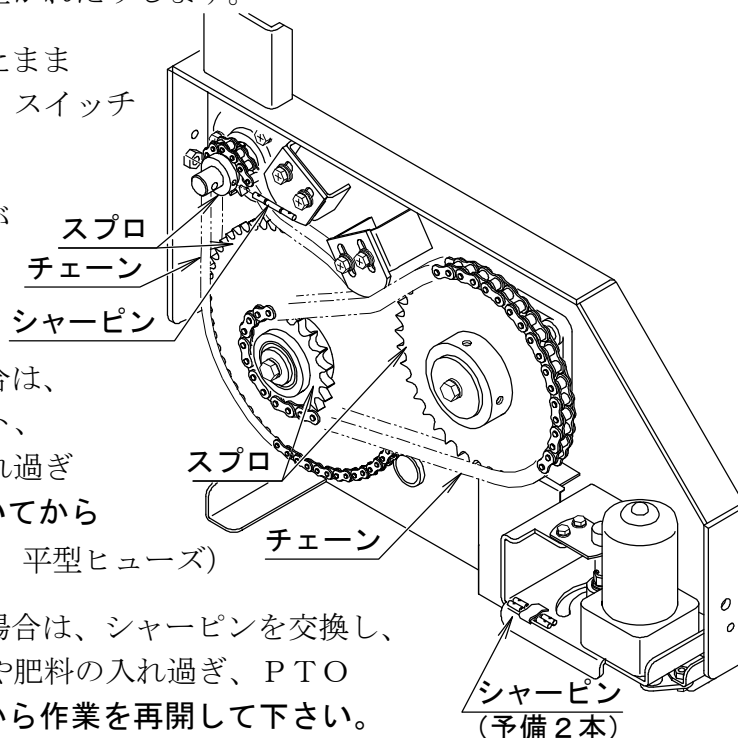
表3 散布目盛り(ペレット用)

参考肥料：根菜専用808(直径4mm×6mm)

ペレット用		10アール当たりの散布量												
		60 Kg	80 Kg	100 Kg	120 Kg	140 Kg	160 Kg	180 Kg	200 Kg	240 Kg	300 Kg	340 Kg	400 Kg	500 Kg
トラクター の車速 [Km/h]	8.0	4.5	4.8	5.0	5.2	5.4	5.6	5.8	6.0	6.3	6.8	7.1	7.5	8.2
	7.0	4.4	4.7	4.9	5.1	5.2	5.4	5.6	5.8	6.1	6.5	6.8	7.2	7.7
	6.0	4.2	4.5	4.7	4.9	5.1	5.2	5.4	5.5	5.8	6.2	6.5	6.8	7.3
	5.0	4.0	4.3	4.6	4.7	4.9	5.0	5.1	5.3	5.5	5.9	6.1	6.4	6.9
	4.0	—	4.1	4.3	4.5	4.7	4.8	4.9	5.0	5.2	5.5	5.7	6.0	6.4
	3.0	—	—	4.0	4.2	4.4	4.5	4.6	4.7	4.9	5.1	5.3	5.5	5.9

■ 散布作業

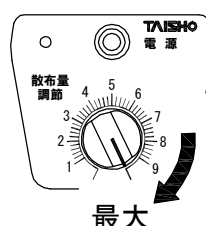
- (1) 散布目盛りを設定します。(1 1、1 2 ページの散布目盛りの決め方の項参照。)
- (2) ホッパーへの肥料投入後、P T O回転を徐々に上げ、混合羽根を回転させて肥料を混合します。(P T O回転：約400rpm)
- (3) 1分程で大体の混合を確認してから散布作業を始めます。
散布前の混合は2分以上しないで下さい。 散布せずに長時間混合すると、肥料が砕けたり、固まってシャッター穴が塞がれたりします。
- (4) 散布作業は、混合羽根を回転させたまま行います。肥料の繰り出し・停止は、スイッチボックスの散布スイッチで行います。
- (5) 散布作業中や走行中は散布機下部が地面に当たらないようなスピードにしてください。(時速8 Km以下)
- (6) 散布作業中にヒューズが切れた場合は、**その原因**(コード圧迫によるショート、ホッパー内への異物混入や肥料の入れ過ぎによるモーター過負荷等)を取り除いてからヒューズを交換して下さい。(10 A 平型ヒューズ)
- (7) 散布作業中にシャープピンが切れた場合は、シャープピンを交換し、**その原因**(ホッパー内への異物混入や肥料の入れ過ぎ、P T O回転数の上げ過ぎ等)を取り除いてから作業を再開して下さい。
(予備シャープピン 2本付属) (18ページのシャープピン交換手順の項参照。)



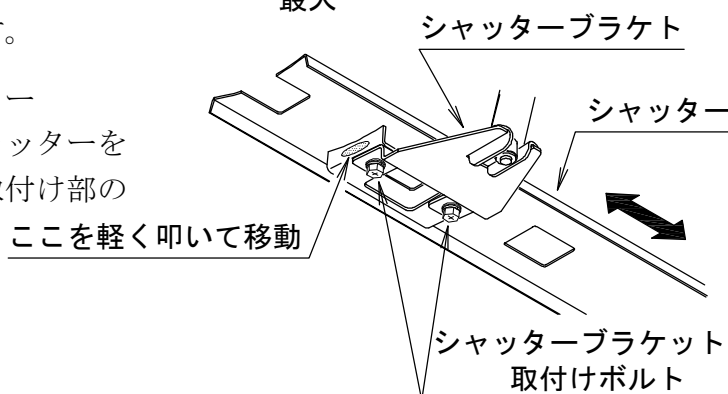
■ シャッター開度の調整方法

(シャッター穴の開度がずれてきた時に行ってください。)

- (1) スwitchボックスの電源を入れ、散布スイッチを「入」にしてツマミを最大にします。
シャッターが開いた後、電源を切ります。



- (2) 穴の開度が全開になるよう、シャッターブラケットの取付けボルトを緩め、シャッターを動かします。シャッターのブラケット取付け部の側面をプラスチックハンマー等で軽く叩いて移動させて下さい。

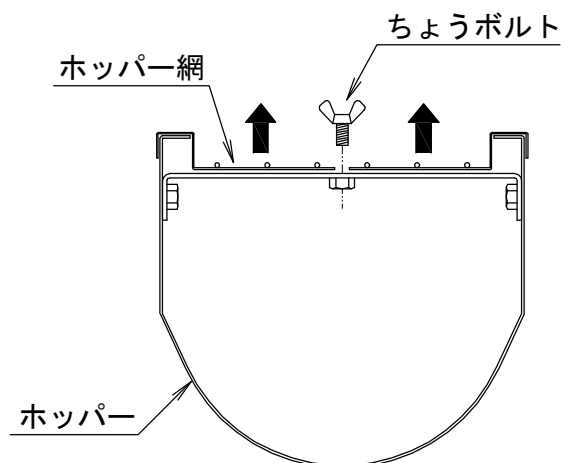


- (3) 散布スイッチを「切」にしてシャッターを閉じた時に、穴の開度が全開にならない時は、基板ユニットのボリューム (VR4) を少し時計方向に回し、シャッター可動範囲を広げて下さい。(17ページの(7)項参照。)
可動範囲を変えると、全開の調整も再度必要になります。
その後、17ページの(4)～(8)の作業を行ってください。

■ ホッパー網の取外し

※ホッパー網は、残量肥料排出や
手入れの時以外は外さないで下さい。

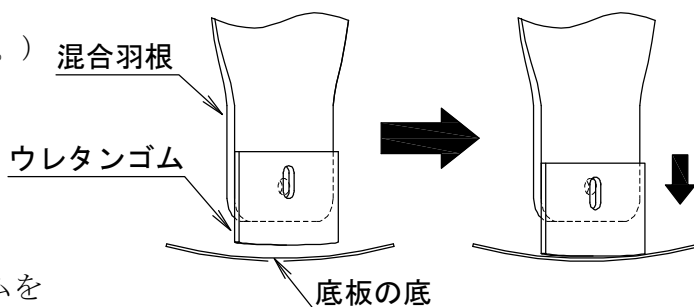
- (1) エンジンを停止し、PTOのギアをN（ニュートラル）に入れて下さい。
- (2) 網を止めているちょうボルトを外します。
- (3) ホッパー網を上を持ち上げて外します。



■ ウレタンゴムの調整

(肥料が落ちにくくなった場合に行ってください。)

- (1) トラクタのエンジンを停止し、PTOのギアをN（ニュートラル）に入れて下さい。
- (2) 混合羽根に取り付いているウレタンゴムを底板の底に軽く触るくらいに調整して下さい。
- (3) 手で混合羽根を1回転させた時、ウレタンゴムがホッパー内壁や底に擦るような箇所がある時は、ウレタンゴムをもう少し引っ込めて下さい。

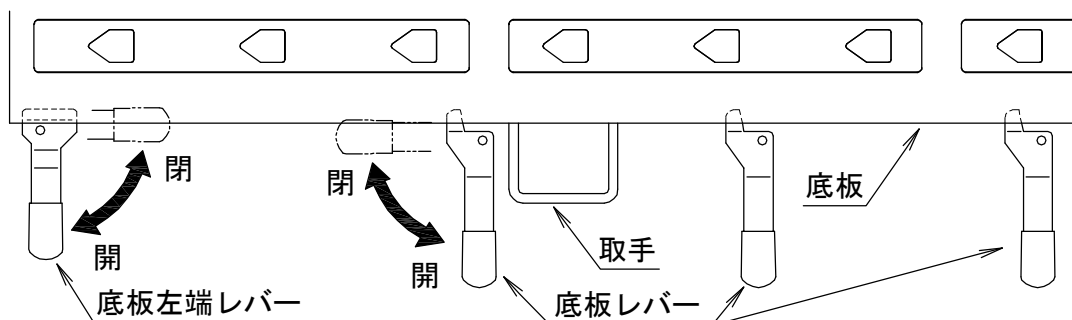


■ 底板の開閉方法

(ホッパー内の掃除の時、底板を開けて残量肥料排出ができます。)

※底板は、残量肥料排出や手入れの時以外は開けないで下さい。

- (1) エンジンを停止し、PTOのギアをN（ニュートラル）に入れて下さい。
- (2) スイッチボックスとブレード散布機本体との接続コネクタを抜いて下さい。
- (3) 底板を開ける時は、底板の取手から遠い方のレバーから順に開け、最後のレバーは必ず、取手を持ちながらゆっくりと底板を開けて下さい。(底板は一気に全開にならないよう、ワゴムとスプリングフックでフレームにつながっていますので、全開にする時はフレームからスプリングフックを外して下さい。)

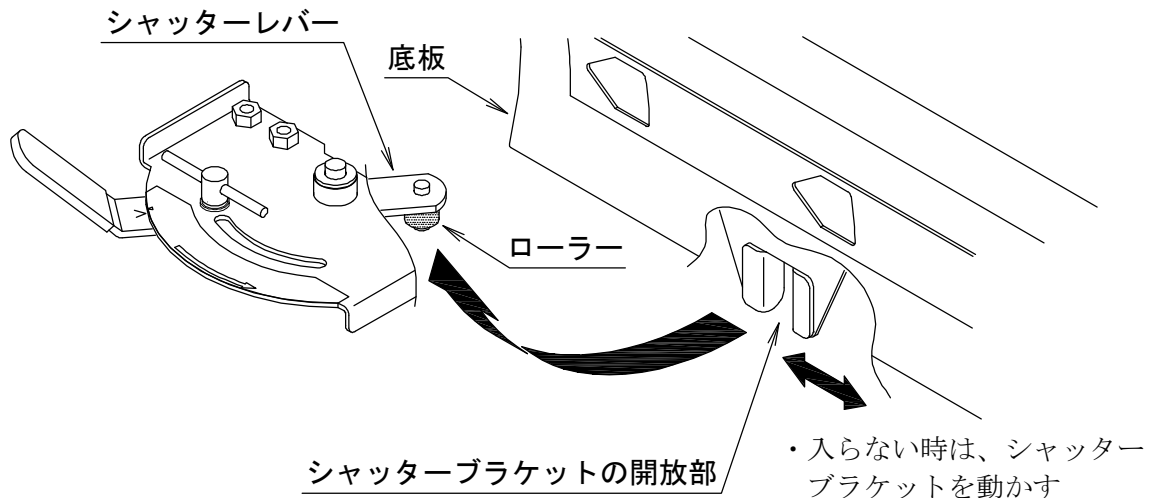


- (4) 底板を開める時は、ホッパーと底板の間に肥料が挟まらないよう、きれいに肥料を取除いて下さい。

また底板を持ち上げた時、シャッターブラケットの開放部にシャッターレバーのローラーが入り込むようにして、取手に近い方のレバーから順に閉めて下さい。

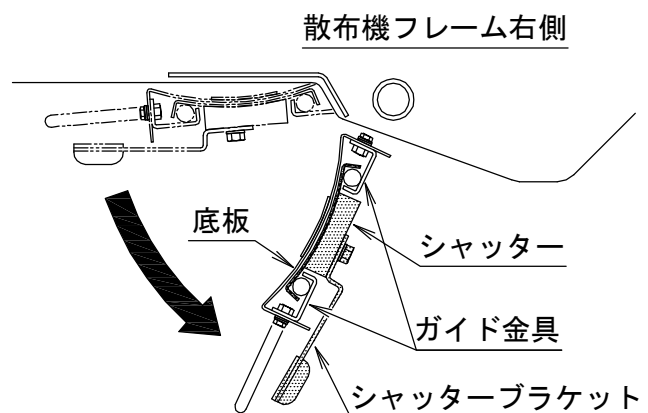
(入らない時は、シャッターブラケットを手で動かして下さい。)

	レバー本数 (底板左端レバー+底板レバー)
DSB-1 4 2 4	5
DSB-1 6 3 0	6
DSB-1 8 3 2	6
DSB-2 2 3 8	7



■ シャッターの外し方

- (1) 底板を開けます。
- (2) シャッターブラケットが接続されたままシャッターをゆっくり散布機右側（手前）に引き抜きます。
- (3) きつくてシャッターが抜けない場合は、ガイド金具を取付けているボルトを少し緩めてから引き抜いて下さい。



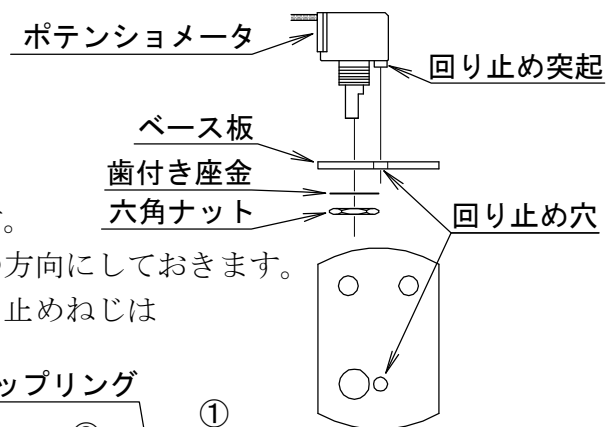
■ 底板フェルト交換方法

- (1) シャッターの滑り改善と肥料漏れ防止の為、底板の外側にフェルトが貼ってあります。シャッターを閉じていても肥料が漏れる場合はホッパー内の肥料を全部出し、シャッターの穴を確認して下さい。
- (2) シャッターの穴が閉じていても肥料が漏れている時は、シャッターを外して底板フェルトが破れていないか確認して下さい。破れている場合は、その箇所のフェルトをきれいにはがして新しいものに貼り替えて下さい。（別売りの底板フェルトをご用意下さい。）

■ ポテンショメータ交換時の調整手順

※動作確認時以外は必ず電源を切ってください。

(1) ポテンショメータを右図のような向きでベース板に取付けて下さい。

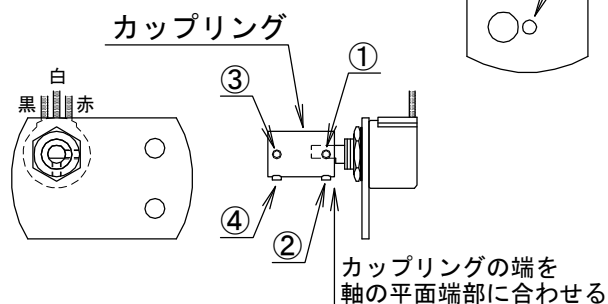
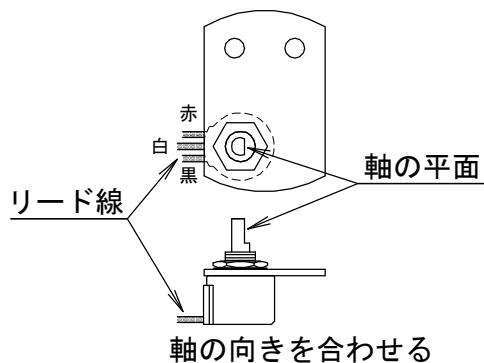


(2) カップリングをポテンショメータの軸に取付けます。

この時、軸の削った平面の向きをリード線と反対の方向にしておきます。

カップリングは下図のような向きと位置に合わせ、止めねじは

①、②の2箇所だけ止めます。

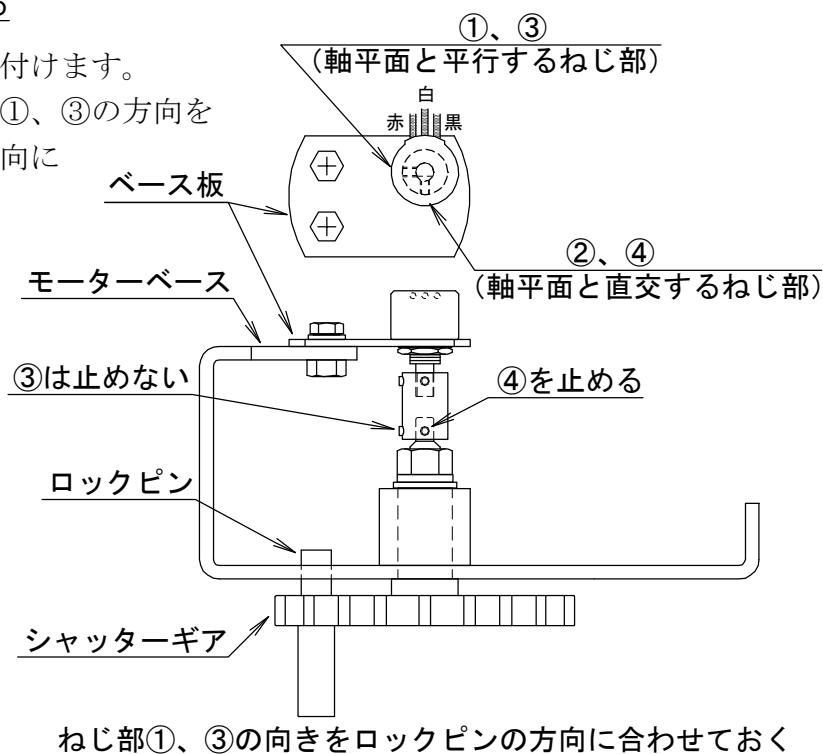


①、②の2箇所止める

(3) ベース板をモーターベースに取付けます。

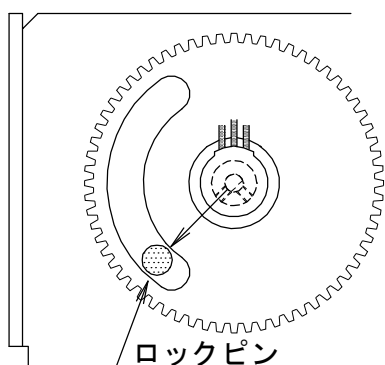
この時、カップリングのねじ部①、③の方向をシャッターギアのロックピンの方向に合わせます。(下図参照)

カップリングの止めねじは④だけ止めておきます。

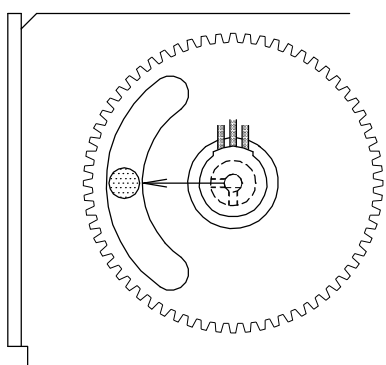


ねじ部①、③の向きをロックピンの方向に合わせておく

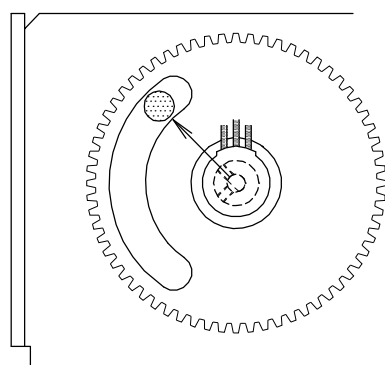
シャッター全閉状態で止まっている場合



半開状態で止まっている場合



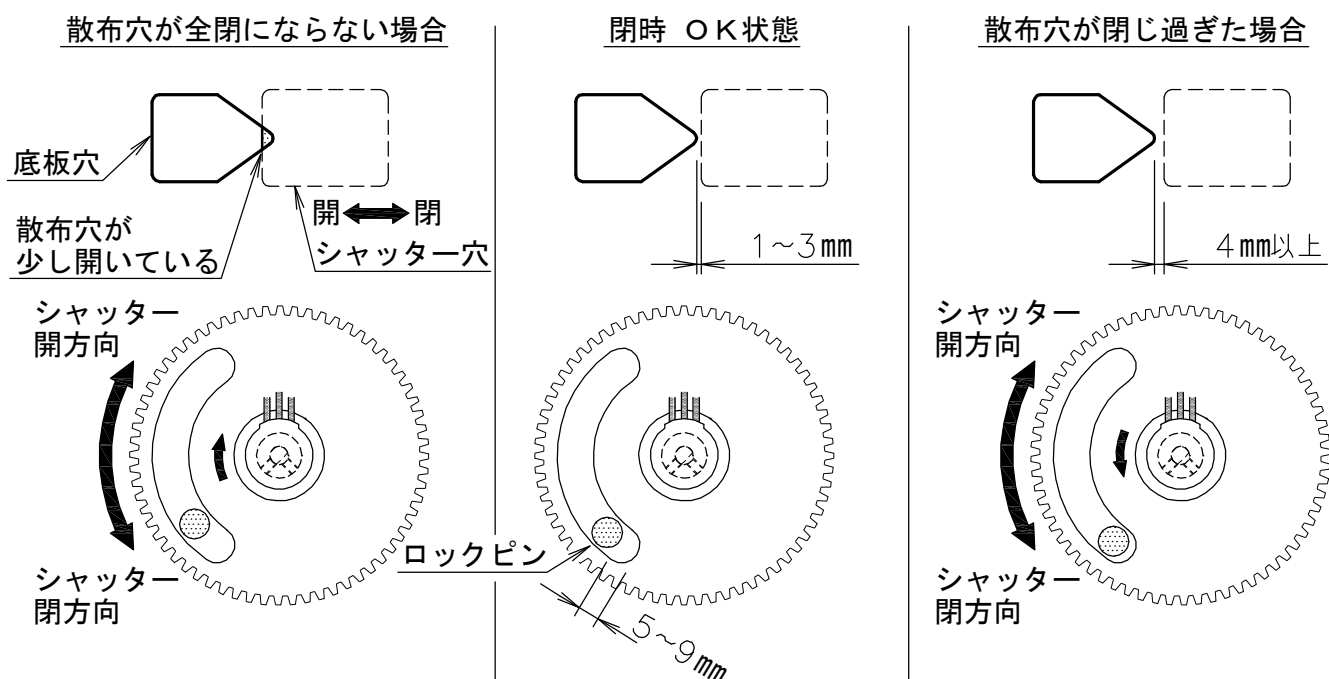
全開状態で止まっている場合



(4) スイッチボックスの散布量調節ツマミを「5」に合わせ、散布スイッチを「入」にしてから電源スイッチを入れます。

(5) 底板の散布穴を見ながらゆっくりとツマミを下げていきます。ツマミが最小時に散布穴が全閉（1～3mm重なり部分が有ること）になればOKです。その時のロックピンと長穴の隙間は5～9mmです。散布穴が全閉にならない場合は、電源を切ってから④の止めねじを緩めポテンシオメータの軸をカップリングごとと少しだけシャッター開方向に回して止めます。逆にシャッターが閉じ過ぎた場合は、少しだけシャッター閉方向に回し、カップリングの止めねじ④を止めます。

調整中、ロックピンが長穴端部に当たってロックした時は、本体駆動部に付いている基板ユニットの過負荷LED（赤）が点灯して停止しますので、電源を切って再度入れることでリセットできます。

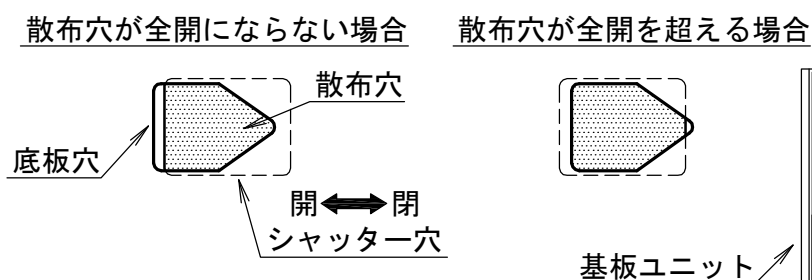


(6) (5) の調整がOKになるまで (4) ⇒ (5) の作業を繰り返します。

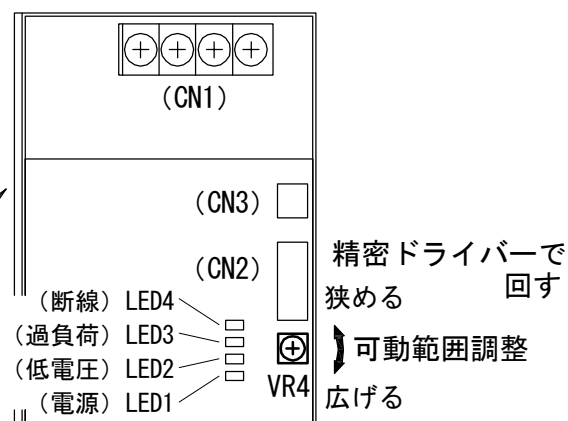
(7) 次に全開状態を確認します。

電源を入れ底板の散布穴を見ながらゆっくりとツマミを上げていきます。ツマミが最大時に散布穴が全開になればOKです。散布穴が全開にならない場合は、基板ユニットのボリューム（VR4）を時計方向に少し回して（精密ドライバー 使用）シャッターの可動範囲を広げて下さい。

逆に散布穴が開き過ぎた場合は、基板ユニットのボリューム（VR4）を反時計方向に少し回してシャッターの可動範囲を狭めて下さい。基板ユニットのボリュームを調整した時は、閉方向の可動範囲も変わるので、電源を切って再度（4）からの作業を行って下さい。



(8) ツマミを最大にして散布穴が全開になり、散布スイッチを「切」にして散布穴が全閉になれば調整完了ですので、カップリングの止めねじ③を止めて下さい。

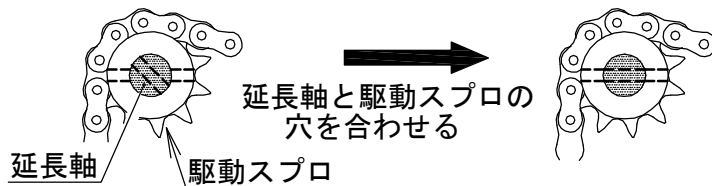


■ シャーピン交換手順

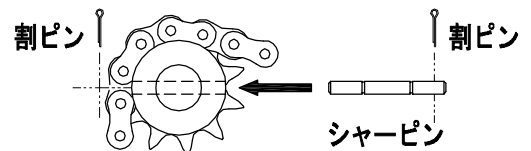
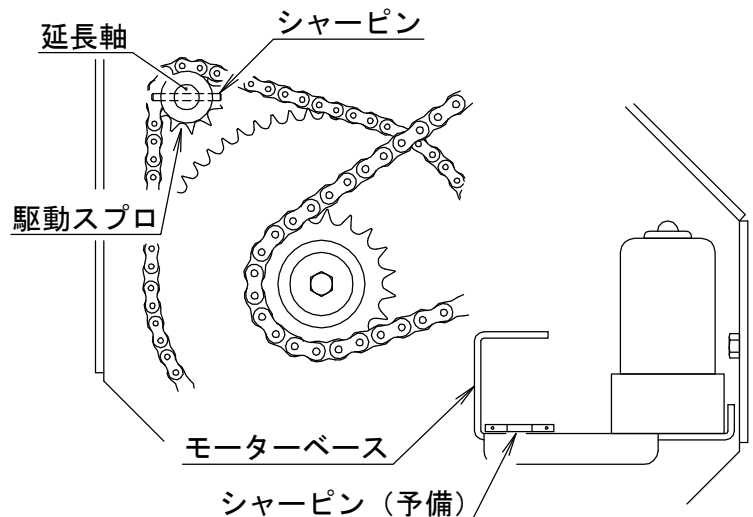
※シャーピン交換後、異常負荷の原因
(異物混入や肥料の入れ過ぎ等)を
取り除いてから作業を再開して下さい。

- (1) エンジンを停止し、PTOのギアを
N (ニュートラル) に入れて下さい。
- (2) フレーム左側のチェーンカバーを
外して下さい。

- (3) 延長軸先端の穴に棒等を差し込み、
延長軸を回して延長軸と駆動スプロの
穴を合わせます。



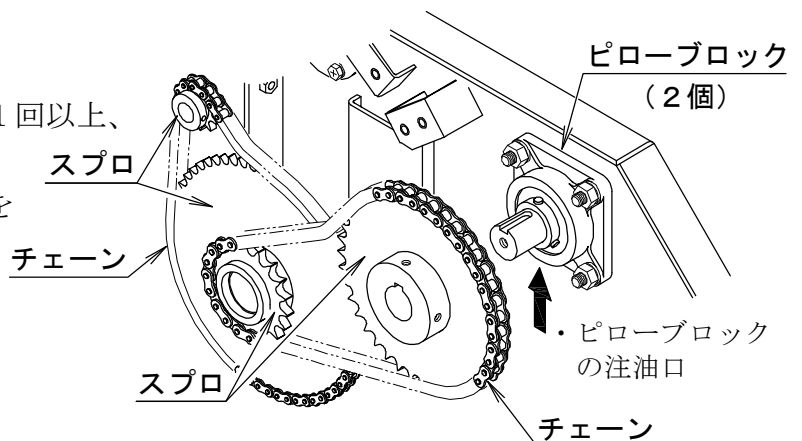
チェーンカバーを外した状態



- (4) 延長軸の中に残っているシャーピンの断片を取り除いて下さい。
- (5) 新しいシャーピンを入れて割ピンで止めて下さい。予備のシャーピン (2本) は、
モーターベースの上にあります。

■ 給油箇所

- (1) 円滑な作業をしていく為に、年に1回以上、
スプロ (4個)、チェーン (2個)、
ピローブロック (2個) にグリースを
注入・塗布して下さい。

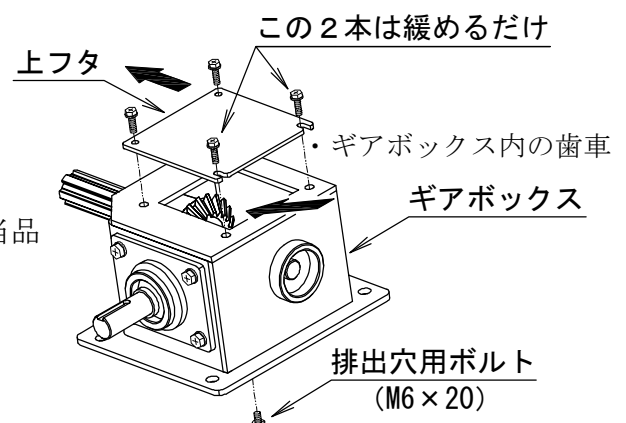


- (2) ギアボックスへのグリース注入は、
上フタを外して行って下さい。
また、ゴミやホコリ等が入らないように
注意して下さい。
2～3年に1回、歯車全体に塗って下さい。

推奨グリース：新日本石油

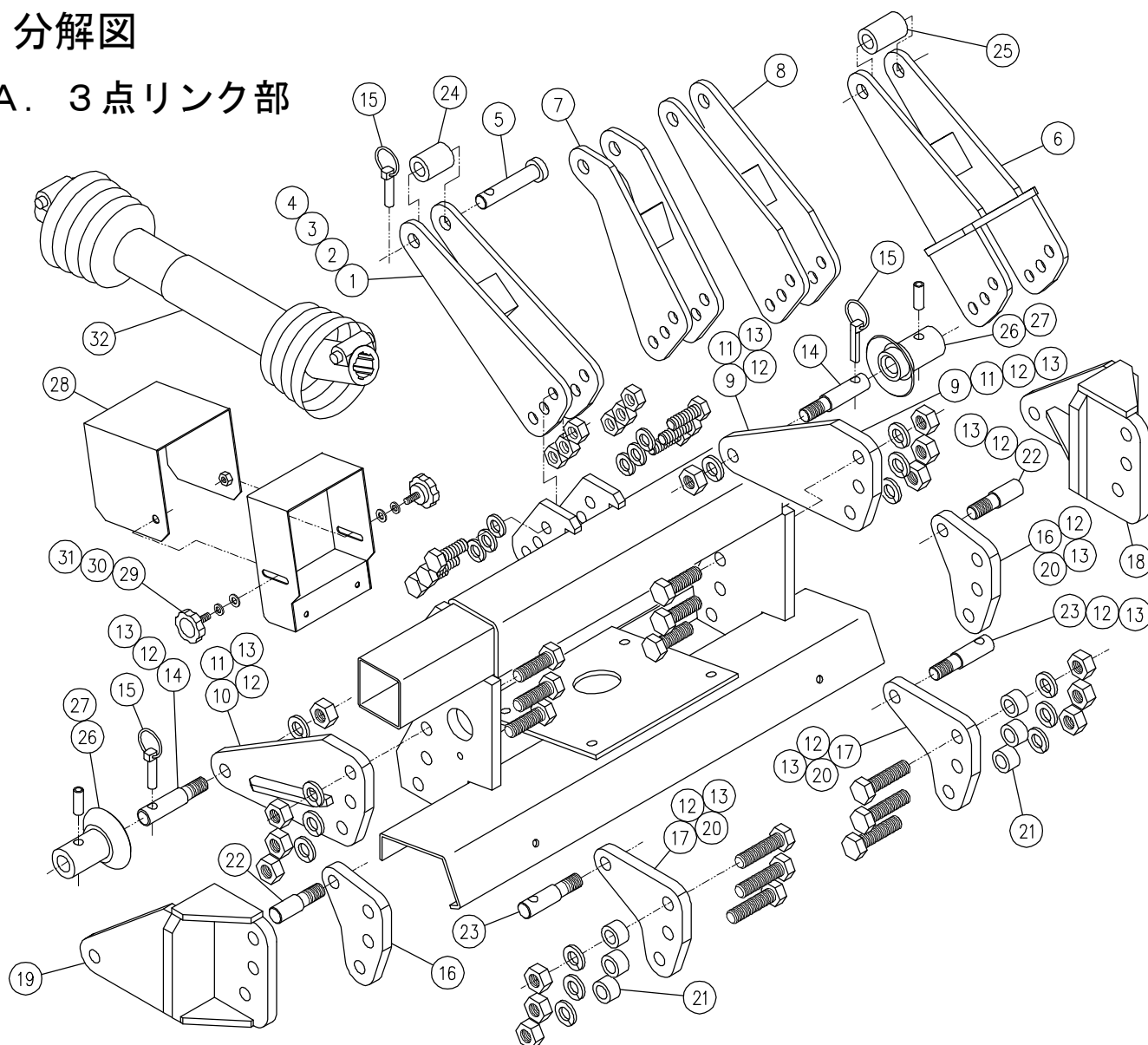
モリノックグリースAP0 相当品

- (3) 結露してギアボックス内に溜まった水等を
排出する場合は、ボックスの底面に付いている
排出穴用ボルトを外して下さい。



分解図

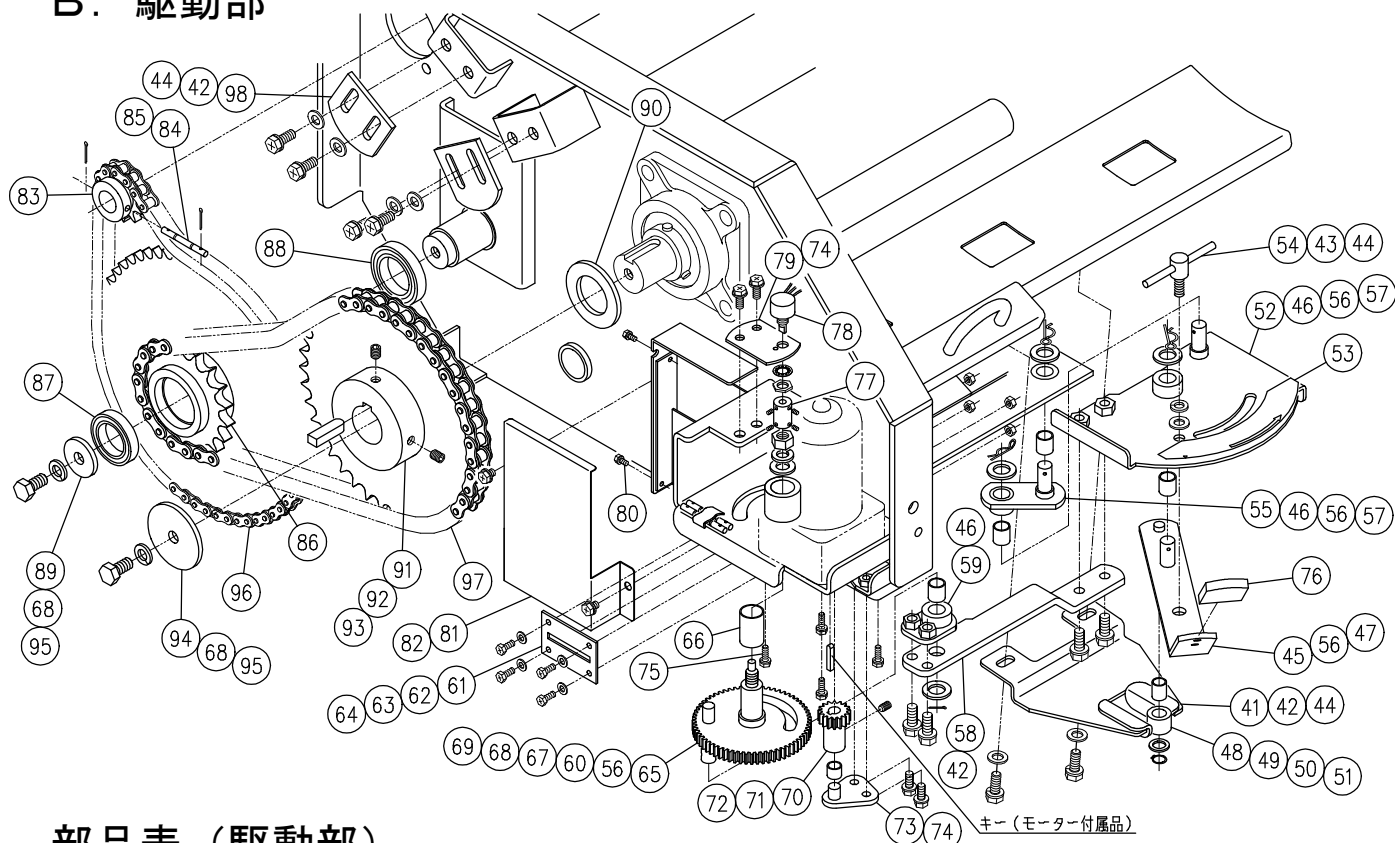
A. 3点リンク部



部品表（3点リンク部）

No.	部 品 名	数 量							No.	部 品 名	数 量						
		OS	IS	A1	A2	B	BM	OL			OS	IS	A1	A2	B	BM	OL
1	標0型トップ板 (SRB)	1	1	—	—	—	—	—	16	特A1、B型ローア板 (SRB)	—	—	2	—	2	2	—
2	六角ボルト M16×40 10.9T (細目)	6	6	6	6	6	6	6	17	特A2型ローア板 (SRB)	—	—	—	2	—	—	—
3	ばね座金 M16	6	6	6	6	6	6	6	18	標1型ローア板右 (DSB)	—	—	—	—	—	—	1
4	六角ナット M16 8.8T (細目)	6	6	6	6	6	6	6	19	標1型ローア板左 (DSB)	—	—	—	—	—	—	1
5	トップリンクピン	1	1	1	1	1	1	1	20	六角ボルト M18×70 10.9T (細目)	—	—	6	6	—	—	—
6	標1型トップ板 (SRB)	—	—	—	—	—	—	1	21	特A型ローアカラー (SRB)	—	—	6	6	—	—	—
7	特A1、B型トップ板 (SRB)	—	—	1	—	1	1	—	22	特B型ローアピン (SRB)	—	—	—	—	2	—	—
8	特A2型トップ板 (SRB)	—	—	—	1	—	—	—	23	特A型ローアピン (SRB)	—	—	2	2	—	2	—
9	標0型ローア板右 (DSB)	1	1	—	—	—	—	—	24	トップリンクカラー	1	—	—	—	—	—	—
10	標0型ローア板左 (DSB)	1	1	—	—	—	—	—	25	標1：2型トップカラー	—	—	—	—	—	—	1
11	六角ボルト M18×55 10.9T (細目)	6	6	—	—	6	6	6	26	ガイドカラー	2	—	—	—	—	—	2
12	バネ座金 M18	8	8	8	8	8	8	8	27	ロールピン	2	—	—	—	—	—	2
13	六角ナット M18 8.8T (細目)	8	8	8	8	8	8	8	28	延長カバー (ATB)	1	—	—	—	—	—	—
14	標0：1型ローアピン (SRB)	2	2	—	—	—	—	2	29	ノブボルト M8×20	2	—	—	—	—	—	—
15	リンチピン	1	3	3	3	1	1	1	30	ばね座金 M8 (SUS)	2	—	—	—	—	—	—
									31	平座金 M8 (SUS)	2	—	—	—	—	—	—
									32	ユニバーサルジョイント L = 600	—	1	—	—	—	—	—

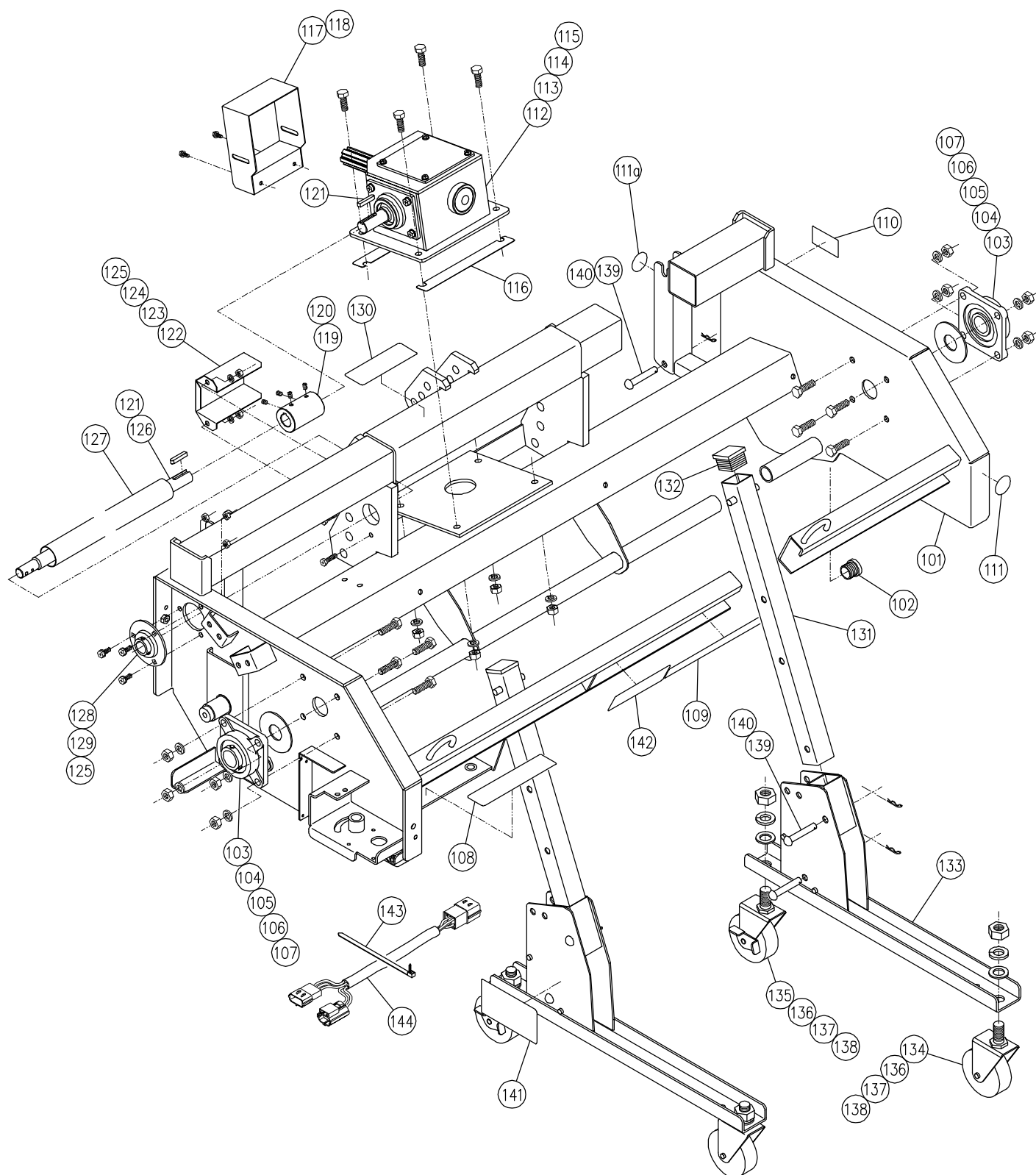
B. 駆動部



部品表 (駆動部)

No.	部 品 名	数量	No.	部 品 名	数量	No.	部 品 名	数量
41	シャッターブラケット	1	65	電動シャッターギア	1	81	基板カバー	1
42	ばね座付き十字穴付き 六角ボルトM8×20 (SUS)	10	66	プッシュ (LFB-1830)	1	82	ばね座付き十字穴付き 六角ボルト M6×8 (SUS)	2
43	ばね座金 M8 (SUS)	1	67	平座金 M10	1	83	駆動スプロ (ATB)	1
44	平座金 M8 (SUS)	7	68	ばね座金 M10	3	84	シャーピン (φ5 SUS) (予備2個)	3
45	シャッターレバー (DSB)	1	69	六角ナット M10	1	85	割ピン φ1.6×12	6
46	プッシュ (LFB-1215)	4	70	モーターギア (DSB)	1	86	減速スプロ (ATB)	1
47	Rピン φ12用	1	71	六角穴付き止めねじ M5×6	1	87	ベアリング (6906LLU)	1
48	ローラー (φ20)	1	72	プッシュ (LFB-1010)	1	88	ベアリング (6907LLU)	1
49	プッシュ (LFB-1015)	1	73	ギア軸受け	1	89	平座 (φ35-φ11)	1
50	平座金 M10 小形	1		ばね座付き十字穴付き 六角ボルト M6×15 (SUS)	4	90	平座 (φ60-φ36)	1
51	C型止め輪 φ10軸用	1	74			91	混合スプロ (ATB)	1
52	シャッター板 (DSB)	1	75	ばね座付き十字穴付き 六角ボルト M5×12	4	92	キー 10×8×35 片アール	1
53	シャッターシール (DSB)	1	76	ハンドルニギリ (エメラルドグリーン)	1	93	六角穴付き止めねじ M8×10	2
54	シャッター固定ハンドル	1		ポテンショカップリング E69-C06B 六角穴付き 止めねじ (M3×5) 付き ポテンシオメータ	1	94	平座 (φ60-φ11)	1
55	サブリンク	1	77			95	六角ボルト M10×20	2
56	平座金 M12	4	78	STRK2210S103 歯付き 座金、六角ナット付き	1	96	チェーン (RS40 68リンク)	1
57	Rピン φ12用 B型	2	79	ポテンシオメータベース	1	97	チェーン (RS50HT 64リンク)	1
58	シャッターロッド (DSB)	1	80	ばね座付き十字穴付き 六角ボルト M4×8	2	98	テンション (ATB)	2
59	シャッターロッド繋ぎ	1						
60	割ピン φ2.5×20	1						
61	ゴム板	1						
62	十字穴付き六角ボルト M5×12 (SUS)	4						
63	平座金 M5 (SUS)	4						
64	六角ナット M5 (SUS)	4						

C. フレーム部



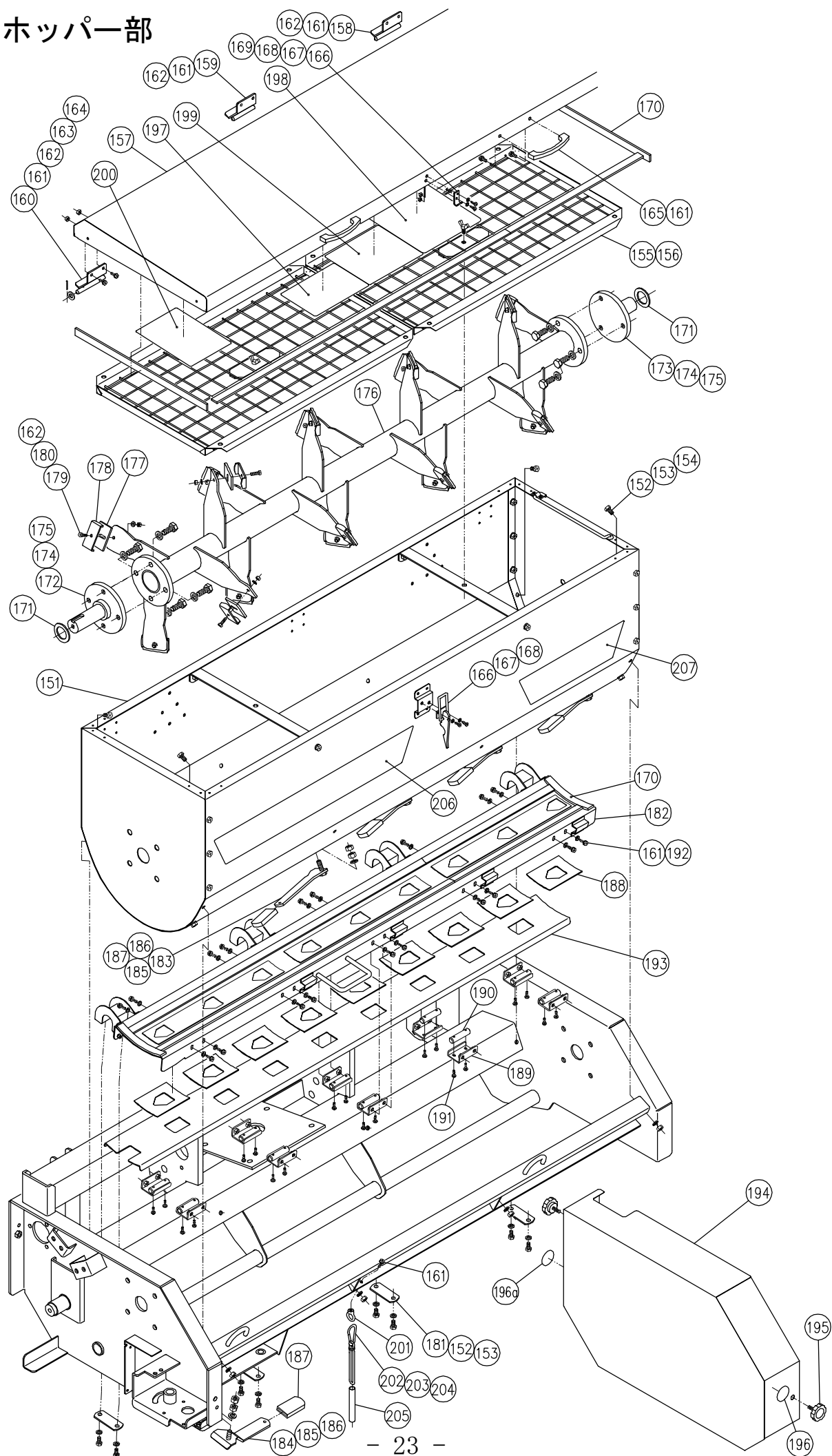
部品表（フレーム部）

- ・ボルト、ナット、ねじ類は汎用品を使用しておりますので、市販品でも代替できます。
- ・フレームは受注生産品です。

No.	部 品 名	数量				No.	部 品 名	数量			
		1424	1630	1832	2238			1424	1630	1832	2238
101	フレーム (DSB-1424) 受注生産	1	—	—	—	124	ばね座金 M8 (SUS)	2	2	2	2
	フレーム (DSB-1630) 受注生産	—	1	—	—	125	六角ナット M8 (SUS)	5	5	5	5
	フレーム (DSB-1832) 受注生産	—	—	1	—	126	延長軸 (DSB-1424)	1	—	—	—
	フレーム (DSB-2238) 受注生産	—	—	—	1		延長軸 (DSB-1630)	—	1	—	—
102	丸中栓 (φ 34×t3.2用)	1	1	1	1		延長軸 (DSB-1832)	—	—	1	—
103	ピローブロック (UCF207)	2	2	2	2		延長軸 (DSB-2238)	—	—	—	1
104	防塵フェルト (φ 85-φ 33)	2	2	2	2	127	軸カバー (SRB-140)	1	—	—	—
105	六角ボルト M12×40 (SUS)	8	8	8	8		軸カバー (DSB-1630)	—	1	—	—
							軸カバー (SRB-180)	—	—	1	—
106	ばね座金 M12 (SUS)	8	8	8	8		軸カバー (SRB-220)	—	—	—	1
107	六角ナット M12 (SUS)	8	8	8	8	128	ピローブロック (SBPF205)	1	1	1	1
108	閉め忘れ注意シール	1	1	1	1	129	ばね座付き十字穴付き 六角ボルト M8×20 (SUS)	3	3	3	3
109	底板レバーシール	1	1	1	1		危険シール (No. TE38054)	1	1	1	1
110	製造シール (No.TE38127)	1	—	—	—	131	スタンド柱 (ATB)	2	2	2	2
	製造シール (No.TE38128)	—	1	—	—	132	角中栓 (□45×t2.3用)	2	2	2	2
	製造シール (No.TE38129)	—	—	1	—	133	スタンドベース (SRB)	2	2	2	2
	製造シール (No.TE38130)	—	—	—	1	134	キャスター (SJT-100W) (ストッパー無し)	2	2	2	2
111	蛍光シール (赤)	1	1	1	1		キャスター (SJT-100WS) (ストッパー付き)	2	2	2	2
111a	蛍光シール (白)	1	1	1	1	135	平座金 M20	4	4	4	4
112	ギアボックスアッシー	1	1	1	1	136	ばね座金 M20	4	4	4	4
113	六角ボルト M12×35 7T (細目)	4	4	4	4	137	六角ナット M20	4	4	4	4
						138	六角ナット M20	4	4	4	4
114	ばね座金 M12	4	4	4	4	139	丸頭ピン φ 12×70	6	6	6	6
115	六角ナット M12 7T (細目)	4	4	4	4	140	Rピン φ 12用 B型	6	6	6	6
116	シム	※4	※4	※4	※4	141	スタンドシール (SRB)	1	1	1	1
117	P I Cカバー (ATB)	1	1	1	1	142	底板開閉シール	1	1	1	1
118	ばね座付き十字穴付き 六角ボルト M6×15 (SUS)	2	2	2	2	143	リピータイ (RF250-W) (本体への延長コード固定用)	2	3	3	3
							延長コード (DSB-1424)	1	—	—	—
119	カップリング	1	1	1	1	144	延長コード (DSB-1630)	—	1	—	—
120	六角穴付止めねじ M8×10	4	4	4	4		延長コード (DSB-1832)	—	—	1	—
121	キー 8×7×40 (片R)	2	2	2	2		延長コード (DSB-2238)	—	—	—	1
122	カップリングカバー (SRB)	1	1	1	1						
123	十字穴付き六角ボルト M8×30 (SUS)	2	2	2	2						

※調整用なので、使用する数量は異なることがあります。

D. ホッパー部

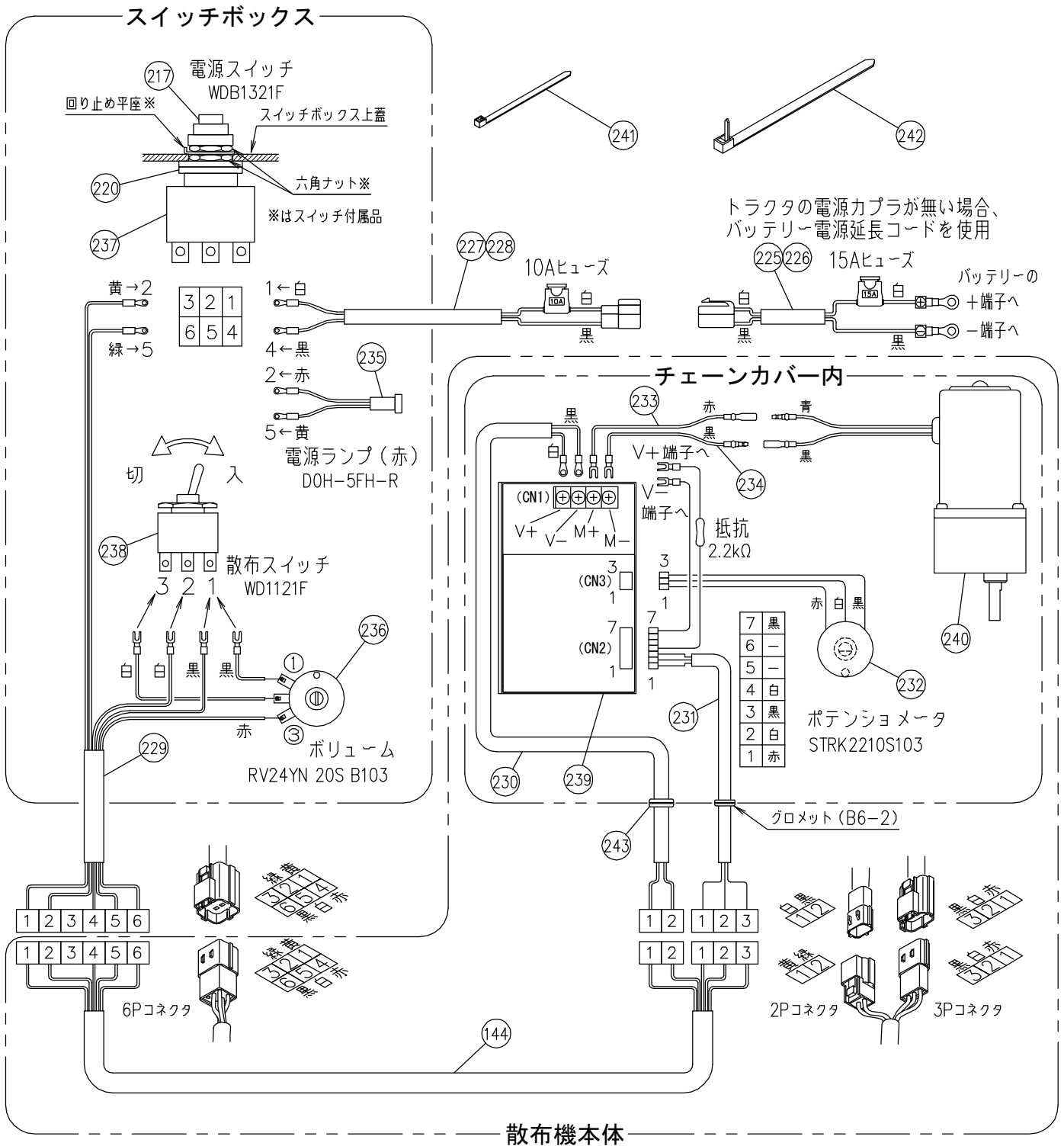


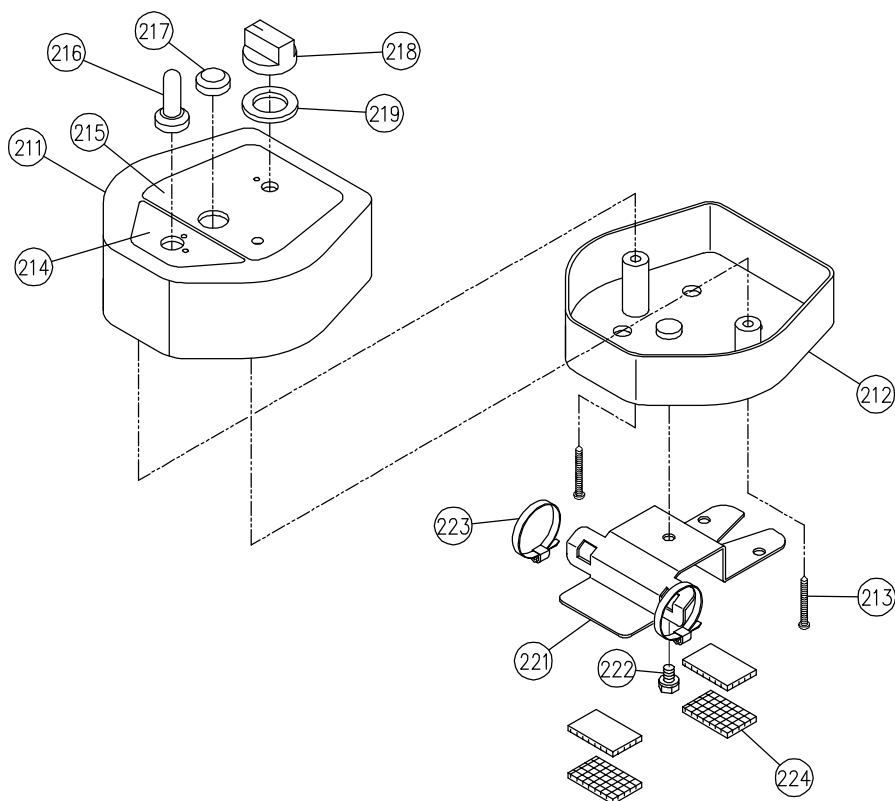
部品表（ホッパー部）

- ・ボルト、ナット、ねじ類は汎用品を使用しておりますので、市販品でも代替できます。
- ・混合羽根、ホッパーアッシー、底板アッシーは受注生産品です。

No.	部 品 名	数量				No.	部 品 名	数量			
		1424	1630	1832	2238			1424	1630	1832	2238
151	ホッパーアッシー (DSB-1424) 受注生産	1	—	—	—	177	ウレタンゴム	18	22	24	28
	ホッパーアッシー (DSB-1630) 受注生産	—	1	—	—	178	ゴム押さえ (SRB)	18	22	24	28
	ホッパーアッシー (DSB-1832) 受注生産	—	—	1	—	179	十字穴付き六角ボルト M6×20 (SUS)	18	22	24	28
	ホッパーアッシー (DSB-2238) 受注生産	—	—	—	1						
152	十字穴付き六角ボルト M8×15 (SUS)	12	14	14	16	180	ばね座金 M6 (SUS)	18	22	24	28
153	ばね座金 M8 (SUS)	12	14	14	16	181	ヒンジ押さえ板	4	5	5	6
154	六角ナット M8 (SUS)	4	4	4	4	182	底板アッシー (SRB-140) 受注生産	1	—	—	—
155	ホッパー網 (DSB-1424)	2	—	—	—		底板アッシー (DSB-1630) 受注生産	—	1	—	—
	ホッパー網 (DSB-1630)	—	2	—	—		底板アッシー (SRB-180) 受注生産	—	—	1	—
	ホッパー網 (DSB-1832)	—	—	2	—		底板アッシー (SRB-220) 受注生産	—	—	—	1
	ホッパー網 (DSB-2238)	—	—	—	2	183	底板レバー	4	5	5	6
156	ちょうボルト M8×15 (SUS)	2	2	2	2	184	底板左端レバー	1	1	1	1
157	蓋 (DSB-1424)	1	—	—	—	185	ばね座金 M10 (SUS)	5	6	6	7
	蓋 (DSB-1630)	—	1	—	—	186	六角ナット M10 (SUS)	10	12	12	14
	蓋 (DSB-1832)	—	—	1	—	187	ハンドルニギリ (エメラルドグリーン)	5	6	6	7
	蓋 (DSB-2238)	—	—	—	1	188	底板フェルト	9	11	12	14
158	蓋ヒンジ右 (SRB)	1	1	1	1	189	ガイド金具	10	12	12	14
159	蓋ヒンジ中 (SRB)	1	1	1	1	190	シャッター受け	10	12	12	14
160	蓋ヒンジ左 (SRB)	1	1	1	1	191	十字穴付きタッピンねじ M5×16 トラス2種溝付き (SUS)	20	24	24	28
161	ばね座付き十字穴付き 六角ボルト M6×15 (SUS)	31	35	35	39	192	平座金 M6 (SUS)	20	24	24	28
162	六角ナット M6 (SUS)	24	28	30	34	193	シャッター (DSB-1424)	1	—	—	—
163	平座金 M10	1	1	1	1		シャッター (DSB-1630)	—	1	—	—
164	割りピン φ2.5×20	1	1	1	1		シャッター (DSB-1832)	—	—	1	—
165	取手 (AP-3-1)	2	2	2	2		シャッター (DSB-2238)	—	—	—	1
166	キャッチレバー (C-506)	1	1	1	1	194	チェーンカバー (SRB)	1	1	1	1
167	十字穴付き六角ボルト M5×12 (SUS)	4	4	4	4	195	ノブボルト M8×20	2	2	2	2
168	ばね座金 M5 (SUS)	4	4	4	4	196	蛍光シール (赤)	1	1	1	1
169	六角ナット M5 (SUS)	2	2	2	2	196a	蛍光シール (白)	1	1	1	1
170	エプトシール (5×20×1000)	6	7	8	9	197	シャープピンシール (DSB)	1	1	1	1
171	防塵フェルト (φ50-φ33)	2	2	2	2	198	目盛表シール (DSB、SRB)	1	1	1	1
172	軸受けフランジ左 (ATB)	1	1	1	1	199	肥料投入量制限シール (SRB)	1	1	1	1
173	軸受けフランジ右 (ATB)	1	1	1	1	200	警告シール (No. TD38106)	1	1	1	1
174	六角ボルト M12×30 (SUS)	7	7	7	7	201	アイナット M6	1	1	1	1
175	ばね座金 M12 (SUS)	7	7	7	7	202	スプリングフック IAH60	1	1	1	1
176	混合羽根 (18枚) 受注生産	1	—	—	—	203	ワゴム	1	1	1	1
	混合羽根 (22枚) 受注生産	—	1	—	—	204	結束バンド AB150-W 黒	1	1	1	1
	混合羽根 (24枚) 受注生産	—	—	1	—	205	ビニールチューブ 内径φ12	1	1	1	1
	混合羽根 (28枚) 受注生産	—	—	—	1	206	アトラスシール (DSB)	1	1	1	1
207						207	型式シール (DSB-1424)	1	—	—	—
							型式シール (DSB-1630)	—	1	—	—
							型式シール (DSB-1832)	—	—	1	—
							型式シール (DSB-2238)	—	—	—	1

E. 電装部





部品表（電装部）

・ボルト、ナット、ねじ類は汎用品を使用しておりますので、市販品でも代替できます。

No.	部 品 名	数量	No.	部 品 名	数量
211	スイッチボックス上蓋	1	230	基板入力コード	1
212	スイッチボックス下蓋	1	231	指示コード（グロメット付き）	1
213	十字穴付きタッピンねじ M4×30 なべ2種	2	232	ポテンショメータアッシー （ ⑦⑧ のリード線にコネクタ付き）	1
214	散布入切シール（No.TE38126A）	1	233	モーター線（赤）	1
215	散布量調整シール（No.TE38126B）	1	234	モーター線（黒）	1
216	防水キャップ（WD1811B）	1	235	電源ランプアッシー	1
217	防水キャップ（AT-4043）	1	236	ボリュームアッシー	1
218	ツマミ K-90-L	1	237	電源スイッチ（WDB1321F）	1
219	ツマミ座	1	238	散布スイッチ（WD1121F）	1
220	平座金 M12	2	239	基板ユニット（TD13013）	1
221	スイッチ取付座	1		ギアードモーター （TD2444HG-302T-8B100A） キー（4×4×25 片アール）付き	1
222	ばね座付き十字穴付き 六角ボルト M6×10	1		結束バンド（AB100-W-100） （スイッチボックス内、 チェーンカバー内抜け止め用）	3
223	ステンレスバンド （W2-SX-T9-20）	2		リピータイ（RF250-W） （附属品）	7
224	マジックテープ	4	241		
225	バッテリー電源延長コード 1. 25m m ² ×2. 5m	1	242		
226	平型ヒューズ 15A（予備1個）	2	243	グロメット（B8-2）	1
227	電源入力コード 1. 25m m ² ×1. 5m	1	244	取扱説明書	1
228	平型ヒューズ 10A（予備1個）	2	245	適応肥料ガイド	1
229	出力コード 1. 25m m ² ×3m	1			

■ 使用後の管理

A. 一日の作業が終わった時

- (1) ホッパー内に残った肥料は、シャッターを全開にして混合羽根を回転させ排出して下さい。
それでも残った肥料は、トラクタのエンジンを停止し、底板を開けて肥料を排出して下さい。
(底板の開け方は、14ページの底板の開閉方法の項参照。)
- (2) 混合羽根やシャッターに付着した肥料は取り除いて下さい。
- (3) ホッパー内部の水濡れは翌日の作業に影響しますので、雨、夜露等には十分注意して下さい。

B. 今期の作業が終わった時

- (1) 底板を開けて肥料を全て排出し、シャッターを外して底板やシャッターに付着した肥料を良く落として下さい。(エアーコンプレッサーを使ったり、水洗いをするとうまく落ちます。)
- (2) 水洗いする場合は、電気部品に水がかからないように注意して下さい。また、水洗い後は良く乾燥させて下さい。乾燥後、ブッシュやP I C軸等の可動部分に潤滑剤を少量噴き掛けておくと錆び難くなります。(肥料が触れる部分には噴き掛けないで下さい。)

※肥料等の散布剤は強い酸性を有していますので、清掃は念入りに行ってください。

■ 仕様

型 式		DSB-1424				DSB-1630					DSB-1832					DSB-2238				
		OS	A1	A2	B	OS	A1	A2	B	OL	OS	A1	A2	B	OL	OS	A1	A2	B	OL
		1S			BM	1S			BM		1S			BM		1S			BM	
寸 法 [mm]	全 幅	1 6 5 0				1 9 9 0					2 1 5 0					2 4 9 0				
	奥行き	1035	953	997	953	1035	953	997	953	1038	1035	953	997	953	1038	1035	953	997	953	1038
	全 高	604	644	636	644	604	644	636	644	654	604	644	636	644	654	604	644	636	644	654
重 量 [Kg] (スタンド、ジョイント除く)		217	211	213	210	237	231	233	230	245	247	241	243	240	255	267	261	263	260	275
ホッパー容量 [ℓ]		2 4 0				3 0 0					3 2 0					3 8 0				
散布幅 [mm]		1 4 0 0				1 6 0 0					1 8 0 0					2 2 0 0				
適応トラクター		2 5 ～ 7 5 ps				3 3 ～ 7 5 ps					3 5 ～ 7 5 ps					4 5 ～ 7 5 ps				
散布量 [Kg/10a]		けいふん 1 0 0 ～ 6 0 0 ペレット 6 0 ～ 9 0 0 (作業速度 6 [Km/h]時)																		
散布肥料種類		粒状化成、有機ペレット、コンポスト、けいふん、 ケイカル、ヨウリン等の乾燥した肥料																		
肥料混合動力		トラクタ P T O																		
散布量調節		スイッチボックスでのツマミ調整																		
肥料の散布・停止		電動スライドシャッター (手元コントロール)																		
シャッター動力		D C 1 2 Vギアードモーター																		
シャッター電源		トラクターの電源カプラまたはバッテリー																		
装着型式		O S		1 S		A 1		A 2		B		B M		O L						
装着方法		日農工 標準 S 型 オートヒッチ		標準 3 P 手動装着		日農工 特殊 A1 型 オートヒッチ		日農工 特殊 A2 型 オートヒッチ		日農工 特殊 B 型 オートヒッチ		三菱 特殊 B 型 オートヒッチ		日農工 標準 L 型 オートヒッチ						

※本仕様は予告無く変更することがあります。

製造元



株式会社 たいしょう

- 27 -

水戸市元吉田町1027

TEL/029 (247) 5411 ● FAX/029 (248) 2172

No. 381711-4